

学校コード F143310111335

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 学部設置

注1

届出

注2

尚絅大学 現代文化学部 文化コミュニケーション学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人尚絅学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学企画室

職名・氏名

ダイガクカクシツショウオオクオツヤ
大学企画室長・大倉達也

電話番号

096-362-2011

（夜間）

同上

e-mail

kikaku@shokei-gakuen.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

現代文化学部

＜文化コミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	35
4. 既設大学等の状況	36
5. 教員組織の状況	37
6. 附帯事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	59

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人尚綱学園

(2) 大 学 名

尚綱大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒862-8678

熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6番78号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イケミツ フカシ) 池満 淵 (平成24年10月)		
学 長	(モリ マサト) 森 正人 (平成27年4月)	(ヤマガタ ユリコ) 山縣 ゆり子 (令和2年4月)	令和元年12月31日付け学長大熊 薫の辞職に伴い、令和2年1月1日～令和2年3月31日の間、林田俊一郎を学長代行に任命、同任期終了による変更(2)
学 部 長	(ハヤシダ シュンイチロウ) 林田 俊一郎 (平成28年11月)	(ハタケヤマシンイチ) (タラハラヨシヤ) 畠山真一 桑原芳哉 (令和4年4月) (平成31年4月)	桑原芳哉の任期満了に伴う変更(4)
学科長等	(ハヤシダ シュンイチロウ) 林田 俊一郎 (平成28年11月)	(ハタケヤマシンイチ) (タラハラヨシヤ) 畠山真一 桑原芳哉 (令和4年4月) (平成31年4月)	桑原芳哉の任期満了に伴う変更(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
現代文化学部 文化 コミュニケーション学科	文学関係	4年	75人	年次	300		
学士(文学)		年	人	人	人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	75人 人 () []		75人 人 () []		75人 人 () []		75人 人 () []		75人 人 () []		0.58倍	0.58倍	
志願者数	61 () []	() []	64 () []	() []	94 () []	() []	90 () []	() []	79 () []	() []			
受験者数	61 () []	() []	64 () []	() []	93 () []	() []	90 () []	() []	79 () []	() []			
合格者数	61 () []	() []	63 () []	() []	92 () []	() []	90 () []	() []	79 () []	() []			
B 入学者数	40 () []	() []	38 () []	() []	45 () []	() []	55 () []	() []	42 () []	() []			
入学定員超過率 B/A	0.53		0.5		0.6		0.73		0.56				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「―」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「―」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「―」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「―」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	40 [-] (-)	[-] (-)	40 [-] (2) ()	[] ()	45 [-] (-)	[] ()	55 [-] (-)	[] ()	42 [-] (-)	[] ()	
2 年次			35 [-] (-)	[] ()	37 [-] (-)	[] ()	44 [-] (-)	[] ()	57 [-] (-)	[] ()	
3 年次					33 [-] (-)	[] ()	39 [-] (-)	[] ()	43 [-] (-)	[] ()	
4 年次							31 [-] (-)	[] ()	38 [-] (-)	[] ()	
計							169 [] ()		180 [] ()		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	40 人	3 人	平成30年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2名)、除籍(1名)
令和元年度	75 人	6 人	平成30年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4名)
			令和元年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2名)
令和2年度	115 人	2 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2名)
令和3年度	169 人	2 人	平成30年度	1 人	0 人	疾病(1名)
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1名)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	180 人	人	平成30年度	0 人	人	
			令和元年度	0 人	人	
			令和2年度	0 人	人	
			令和3年度	0 人	人	
			令和4年度	0 人	人	
合 計		13 人		13 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{40} = \boxed{7.5} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{75} = \boxed{8} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{115} = \boxed{1.73} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{169} = \boxed{1.18} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{180} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜現代文化学部 文化コミュニケーション学科＞

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次教育	スタディスキル	1前	1					1				
	基礎セミナー	1前	1			5	1	1				
	小計(2科目)	－	2	0	0	5	1	2	0	0	0	
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅰ	1前	2						1			
	日本語表現Ⅱ	1後	2						1			
	クリティカル・リーディング	1後	2			3	2	1				
	クリティカル・シンキング	2前	2			1						
	小計(4科目)	－	8	0	0	4	2	1	2	0	0	
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2								2	
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2							2	
	国際日本学	1前		2		1						
	読書と豊かな人間性	4前		2		1						
	小計(4科目)	－	2	6	0	2	0	0	0	0	4	
社会理解	経済と社会Ⅰ	1前	2			1						
	経済と社会Ⅱ	2前		2							1	
	経済と社会Ⅲ	3前		2							1	
	政治と社会	1前	2				1					
	法と社会	1後		2			1					
	メディアリテラシー	1前		2			1					
	日本国憲法	2前		2			1					
	民法入門	2前		2			1					
	女性と社会	2前	2			1						
	アドミニストレーション入門	2後		2							1	
	人権論	3後		2			1					
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							1	
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							1	
小計(13科目)	－	6	20	0	2	6	0	0	0	5		

【令和4年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全学 共通 科目	熊本学	1前		1		3						
	日本伝統文化入門	1後		1								1
	小計(2科目)	-		2		3	0	0	0	0	1	
初年 次 教育	スタディスキル	1前	1			1		1				1
	基礎セミナー	1前	1			8	2	1				1
	小計(2科目)	-	2			9	2	2	0	0	2	
日本 語 通 用 能 力 養 成	日本語表現Ⅰ	1前	2						1			
	日本語表現Ⅱ	1後	2				1					1
	クリティカル・リーディング	1後	1			2	2	2	1			
	小計(3科目)	-	5			2	3	2	2	0	1	
キ ャ リ ア 形 成	キャリア形成入門	1後	1			1						
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1						
	キャリアデザインⅡ	2後	1			1						
	インターンシップⅠ	2通		1		1	1					
	インターンシップⅡ	3通		1		1	1					
	小計(5科目)	-	3	2		5	2	0	0	0	0	
	文 化 理 解	日本伝統文化Ⅰ	1後	1								
日本伝統文化Ⅱ		1前		1								2
日本文学		1前		2		1		1				
国際日本学		1前		2		1	1					
東アジア史		1前		2		1						
日本史		2前		2		1						
生涯学習概論		1前		2								1
図書館概論		1前		2		1						
児童サービス論		2後		2								1
原書で楽しむ絵本の世界		2後		2								1
読書と豊かな人間性		4前		2								1
小計(11科目)	-	1	19		5	1	1	0	0	8		
社 会 理 解	政治と社会	1前	2			1						
	アドミニストレーション入門	2後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
文学・歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1					
	日本文学史Ⅱ	1後		2		1					
	東アジア近現代史	1前		2			1				
	日本近現代史	2前		2							1
	小計(4科目)	－	0	8	0	2	1	0	0	0	1
心理・教育	生涯学習概論	1前		2		1					
	図書館概論	1前		2							1
	生涯発達心理学	2前		2		1					
	児童サービス論	2後		2		1					
	教育心理学	3前		2		1					
	特別支援教育概論	3後		2							1
	小計(6科目)	－	0	12	0	4	0	0	0	0	2
調査分析基礎	基礎数学Ⅰ	1前		2			1				
	基礎数学Ⅱ	1後		2			1				
	情報処理Ⅰ	1前	1			1					
	情報処理Ⅱ	1後	1			1					
	課題探求プロジェクト入門	1後	2						1		
	社会調査法	1前		2			1				
	基礎統計Ⅰ	2前		2			1				
	基礎統計Ⅱ	2後		2			1				
	情報サービス論	2前		2							1
	質的調査法	2前		2		1					
	応用統計	3後		2			1				
	小計(11科目)	－	4	16	0	3	6	0	1	0	1
多文化コミュニケーション	Communicative GrammarⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅢ	2前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅢ	2前	1			1	1	1			
	初級中国語Ⅰ	1前		1			2				
	初級中国語Ⅱ	1前		1			2				
	初級中国語Ⅲ	1後		1			2				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
社会 理 解	経済と社会	1前	2						1			
	マーケティング論	2前		2					1			
	Principle of Economics	3前		2			1					
	簿記・会計	3前		1							1	
	メディアリテラシー	1前		2			1					
	まちづくりと観光	1前		2			1					
	社会学概論	1後		2			1					
	女性と社会	2前	2			1						
	法と社会	1後		2		1						
	日本国憲法	2後		2		1						
	人権論	3後		2		1						
	心理学	3後		2		1						
	小計(14科目)	-	6	21	0	5	4	0	2	0	1	
	調査 分 析 基 礎	情報処理Ⅰ	1前	1			1					
情報処理Ⅱ		1後	1			1						
課題探求プロジェクト入門		1後	1				1				1	
情報サービス論		2前		2		1						
基礎統計		2前		1							1	
応用統計		2後		1				1				
小計(6科目)		-	3	4	0	3	1	0	1	0	2	
英 語	Communicative GrammarⅠ	1前	1			1	1	1				
	Communicative GrammarⅡ	1後	1			1	1	1				
	Communicative GrammarⅢ	2前		1		1	1	1				
	Communication WorkshopⅠ	1前	1			1	1	1				
	Communication WorkshopⅡ	1後	1			1	1	1				
	Communication WorkshopⅢ	2前		1		1	1	1				
	Fundamentals of English	1前		1				1				
	小計(7科目)	-	4	3	0	6	6	7				
中 国 語	初級中国語Ⅰ	1前		1		1					1	
	初級中国語Ⅱ	1前		1		1					1	
	初級中国語Ⅲ	1後		1		1	1					
	初級中国語Ⅳ	1後		1		1	1					
	総合中国語	1後		1		1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
多文化コミュニケーション	初級中国語Ⅳ	1後		1			2				
	中国語コミュニケーションⅠ	2前		1			1				1
	中国語コミュニケーションⅡ	2前		1			1				1
	初級韓国語Ⅰ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅱ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅲ	1後		1		1					1
	初級韓国語Ⅳ	1後		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前		1							2
	海外語学研修（中国語）	1後		1			1				
	海外語学研修（韓国語）	1後		1		1					
	小計(20科目)	－	6	14	0	12	17	6	0	0	9
日本語教育	日本語学概論	1後		2			1				
	音声言語	2前		2			1				
	日本語史	4前		2		1					
	心理言語学	2前		2			1				
	日本語教育文法	3前		2			1				
	日本語教授法	3後		2			1				
	ことばと社会	4前		2		1					
	日本語教育実習	4前		2			1				
	小計(8科目)	－	0	16	0	2	6	0	0	0	0
体育	体育Ⅰ	1前		1							1
	体育Ⅱ	1後		1							1
	小計(2科目)	－	0	2	0	0	0	0	0	0	2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
中国語	中国語コミュニケーションⅠ	2前		1			1				1
	中国語コミュニケーションⅡ	2前		1			1				1
	小計(7科目)	－	0	7	0	7	3	0	0	0	4
韓国語	初級韓国語Ⅰ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅱ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅲ	1後		1		1					1
	初級韓国語Ⅳ	1後		1		1					1
	総合韓国語	1後		1		1					
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前		1							2
	小計(7科目)	－	0	7	0	6	0	0	0	0	7
	海外語学研修（英語Ⅰ）	1通		2			1				
	海外語学研修（英語Ⅱ）	1通		2			1				
海外語学研修	海外語学研修（中国語Ⅰ）	1通		2		1					
	海外語学研修（中国語Ⅱ）	1通		2		1					
	海外語学研修（韓国語Ⅰ）	1通		2		1					
	海外語学研修（韓国語Ⅱ）	1通		2		1					
	小計(6科目)	－	0	12	0	4	2	0	0	0	0
	基礎数学	1前		2							1
自然科学	小計(1科目)	－	0	2	0	0	0	0	0	0	1
身体と生命	体育Ⅰ	1前		1							1
	体育Ⅱ	1後		1							1
	小計(2科目)	－	0	2	0	0	0	0	0	0	2
留学生科目	初級総合日本語Ⅰ	1前		1			1				
	初級総合日本語Ⅱ	1後		1			1				
	中上級総合日本語Ⅰ	1前		1		1					
	中上級総合日本語Ⅱ	1後		1							1
	聴解・会話Ⅰ	1前		1			1				
	聴解・会話Ⅱ	1後		1			1				
	小計(6科目)	－	0	6	0	1	4	0	0	0	1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
キャリア 形成	キャリア形成入門	1後	2						1			
	キャリアデザインⅠ	2前	1						1			
	キャリアデザインⅡ	2後	1						1			
	インターンシップ	3前		1		1						
	小計(4科目)	－	4	1	0	1	0	0	3	0	0	
専門 導入 科目	社会コミュニケーション入門	1後		2		1						
	言語表現文化論入門	1後		2		1						
	情報メディア表現文化論入門	1後		2		1						
	観光文化学入門	1後		2				1				
	アジア事情	2前		2		1	1					
	文学研究概論	2前		2		1						
	メディア表現論	2前		2			1					
	観光文化論	2前		2				1				
	小計(8科目)	－	0	16	0	5	2	2	0	0	0	
共通 実 践 科 目	社会学概論	2後		2			1					
	マーケティング論	2後		2		1						
	プレゼンテーション概論	2後		2		1						
	プレゼンテーション演習	3前		2		1						
	社会コミュニケーション実践論	2前		2		1						
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2			3	2	1	1			
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2		3	2	1	1			
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後		2		1						
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1						
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1					
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2			1					
	小計(11科目)	－	2	20	0	12	7	2	2	0	0	
実 践 外 国 語 科 目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1					
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1					
	検定中国語Ⅲ	3後		2			1					
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			2					
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1					
	中国語通訳・翻訳演習	3後		2							1	
	検定韓国語Ⅰ	2後		2		1						
	検定韓国語Ⅱ	3前		2		1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門導入科目	文芸文化入門	1後		2		1		1					
	情報メディア論入門	1後		2		1							
	アジア研究入門	1後		2		2	1						
	観光文化学入門	1後		2		1							
	文学研究概論	2前		2		1		1					
	日本文学史	2前		2		1		1					
	メディア表現論	2前		2			1						
	映像表現論	2前		2		1							
	アジア事情	2前		2		2	1						
	異文化理解	2前		2			1						
	地域コミュニティ 観光まちづくり論	2前 2前		2 2		1 1							
	小計(10科目)	-				11	4	3	0	0	0		
	共通実践科目	社会調査法	1前		2			2					
		質的調査法	2後		2							1	
社会コミュニケーション論入門		1後		2		1							
社会コミュニケーション実践論		2前		2				1					
プレゼンテーション概論		2後		2		1							
プレゼンテーション演習		3前		2							1		
課題探求プロジェクト演習Ⅰ		3前	2				1						
課題探求プロジェクト演習Ⅱ		3後		2		1	1						
地域マネジメント演習Ⅰ		3前		2		1							
地域マネジメント演習Ⅱ		3後		2		1							
社会調査法実習Ⅰ		4前		2			1						
社会調査法実習Ⅱ		4後		2			2						
小計(12科目)		-	2	22	0	5	7	0	1	0	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践外国語科目	検定韓国語Ⅲ	3後		2		1					
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2		1	1	1			
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2		1	1	1			
	TOEIC PreparationⅠ	2後		2		1					
	TOEIC PreparationⅡ	3前		2		1					
	小計(16科目)	－	0	32	0	7	8	2	0	0	4
文芸文化	名跡鑑賞	2後		2		1					
	表現ワークショップⅠ	2後		2							1
	表現ワークショップⅡ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2		1					
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					
	表現文化概論	2後		2					1		
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	書写・書道Ⅰ	3前		1		1					
	書写・書道Ⅱ	3後		1		1					
	アジア書記史Ⅰ	3後		2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2		1					
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2					1		
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2					1		
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前		2			1				
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後		2			1				
小計(17科目)	－	0	32	0	9	3	0	3	0	2	
情報メディア文化	情報デザイン論	2後		2							1
	ジェンダー表象論	2後		2			1		1		
	映像表現論	2後		2		1					
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1				
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1				
	情報社会論	3前		2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
実 践 外 国 語 科 目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定中国語Ⅱ	3前		2							1
	検定中国語Ⅲ	3後		2							1
	応用中国語	2後		2							1
	中国語通訳・翻訳 演習	3前		2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2		1					
	検定韓国語Ⅱ	3前		2		1					
	検定韓国語Ⅲ	3後		2		1					
	応用韓国語	2後		2		1					
	韓国語通訳・翻訳 演習	3前		2							1
	英会話	2後		2			1				
	検定英語Ⅰ	2後		2				1			
	検定英語Ⅱ	3前		2				1			
	検定英語Ⅲ	3後		2				1			
	応用英語Ⅰ	3後		2			1				
	応用英語Ⅱ	4前		2			1				
	小計(16科目)	－	0	32	0	4	4	3	0	0	5
日 本 語 教 育	日本語学概論	1前		2			1				
	音声言語	1後		2			1				
	ことばと社会	1後		2		1					
	日本語史	2前		2		1					
	日本語教育入門	2前		2			1				
	心理言語学	2後		2			1				
	日本語教育文法	2後		2			1				
	日本語教授法	3前		2			1				
	日本語教育実習	3後		2			1				
小計(9科目)	－	0	18	0	2	7	0	0	0	0	
文 芸 文 化	表現文化概論	2後		2			1				
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	表現ワークショップⅠ	2後		2							1
	表現ワークショップⅡ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2			1				
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報 メ デ ィ ア 文 化	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				
	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1		1					
	Webデザイン演習Ⅱ	3前		1		1					
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							1
	小計(17科目)	-	0	32	0	7	8	0	1	0	2
日本・東 ア ジ ア 社 会 文 化	東アジア関係史	2後		2			1				
	国際関係論	2後		2			1				
	日中文化交流史	2後		2			1				
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2				1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2				1			
	中国社会文化論	3前		2			1				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2			1				
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					
	熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					
	熊本国際交流史	2後		2		1					
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	ものづくり論	4後		2							1
	小計(18科目)	-	0	36	0	5	10	2	0	0	1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
文 芸 文 化	書道Ⅰ	2後		2								1
	書道Ⅱ	3前		2								1
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2		1						
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2		1						
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2		1						
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2				1				
	日本文化文学論	3後		2		1		1				
	文芸文化特論	4前		2		1		1				
	小計(14科目)	－	0	28	0	6	1	5	0	0	4	
	情 報 メ デ ィ ア 文 化	情報デザイン論	2後		2							
文化社会学		2後		2								1
ジェンダー表象論		2後		2		1	1					1
メディア文化論		3前		2		1						
情報社会論		3前		2			1					
アート表現論Ⅰ		3前		2			1					1
アート表現論Ⅱ		3後		2			1					
映画とアニメーション史Ⅰ		3前		2		1						
映画とアニメーション史Ⅱ		3後		2		1						
マンガ表現論Ⅰ		3前		2			1					
マンガ表現論Ⅱ		3後		2			1					
Webデザイン演習Ⅰ		3前		2								1
Webデザイン演習Ⅱ		3後		2								1
映像と音響		4前		2		1						
ファッション文化史		4後		2								1
小計(15科目)	－	0	30	0	5	6	0	0	0	7		
日 本 ・ 東 ア ジ ア 社 会 文 化	東アジア関係史	2後		2		1						
	国際関係論	2後		2								1
	アジア国際交流史Ⅰ	2後		2			1					
	アジア国際交流史Ⅱ	3前		2		1						
	中国社会文化論Ⅰ	2後		2		1						
	中国社会文化論Ⅱ	3前		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
観光文化	観光総論	2後		2		1		1			
	観光産業論	2後		2				1			
	コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1			
	観光実務	3後		2		1		1			
	インバウンド・ツーリズム論	3後		2				1			
	旅行業法規	4前		2				1			
	フード・ツーリズム論	4前		2							1
	小計(7科目)	-	0	14	0	2	0	6	0	0	1
演習・卒業	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			9	8	2	1		
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			9	8	2	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	6			9	8	2	1		
	小計(3科目)	-	10	0	0	27	24	6	3	0	0
司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2	1					
	図書館制度・経営論	1後			2	1					
	図書館サービス概論	2前			2	1					
	情報サービス演習(A)	2前			1						1
	情報サービス演習(B)	2後			1						1
	図書館情報資源概論	3前			2						1
	情報資源組織論	3前			2	1					
	情報資源組織演習(A)	3後			1	1					
	情報資源組織演習(B)	3後			1	1					
	図書館情報資源特論	4前			1	1					
	図書館基礎特論	4前			1						1
	図書・図書館史	4後			1						1
	図書館実習	4通			1	1					
	小計(13科目)	-	0	0	18	8	0	0	0	0	5
合計(188科目)		-	44	277	18	119	101	29	15	0	39

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本・東アジア社会文化	韓国社会文化論Ⅰ	2後		2		1					
	韓国社会文化論Ⅱ	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3後		2		1					
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	日本伝統文化論	3後		2		1					
	熊本の文化	3前		2		1					
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	小計(14科目)	-	0	28	0	8	3	0	0	0	1
観光文化	観光総論	2後		2		1	1				
	観光産業論	2後		2							1
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2		1					
	観光地経営論	3後		2							
	ツーリズム論Ⅰ	3前		2		1	1				1
	ツーリズム論Ⅱ	3後		2			1				
	ツーリズム論演習Ⅰ	3通		2			1				
	ツーリズム論演習Ⅱ	3通		2		1					
	観光文化統合研究	4前		2		1	1				
	小計(10科目)	-	0	20	0						
演習・卒業	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			6	2	1	1		
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			6	2	1	1		
	卒業研究Ⅰ	4前	2			6	2	1			
	卒業研究Ⅱ	4後	4			6	2	1			
	小計(14科目)	-	10	0	0	24	8	4	2	0	0
司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2	1					
	図書館制度・経営論	1後			2	1					
	図書館サービス概論	2前			2	1					
	情報サービス演習(A)	2前			1	1					
	情報サービス演習(B)	2後			1						1
	図書館情報資源概論	3前			2						1
	情報資源組織論	3前			2	1					
	情報資源組織演習(A)	3後			1	1					
	情報資源組織演習(B)	3後			1	1					
	図書館情報資源特論	4前			1	1					
	図書館基礎特論	4前			1	1					
	図書・図書館史	4後			1						1
	図書館実習	4通			1	1					
	小計(13科目)	-	0	0	18	10	0	0	0	0	3

卒業要件及び履修方法										
＜教養教育科目＞										
1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。										
2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。										
3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。										
＜専門教育科目＞										
1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。										
2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。										
3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。										
4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。										
5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。（履修科目の登録の上限：45単位（年間））										

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通開講科目	熊本学	1前		1		1	1				
	日本伝統文化入門	1後		1							1
	小計(2科目)	—	0	2	0	1	1	0	0	0	1
初年次教育	スタディスキル	1前	1			1		1			1
	基礎セミナー	1前	1			6	3	1	1		
	小計(2科目)	—	2	0	0	7	3	2	1	0	1
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅰ	1前	2			1	1				
	日本語表現Ⅱ	1後	2				1				1
	クリティカル・リーディング	1後	2			2	1	2			
	クリティカル・シンキング	2前	2			1	1		1		1
	小計(4科目)	—	8	0	0	4	4	2	1	0	2
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2								2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2							2
	国際日本学	1前		2		1	1				
	読書と豊かな人間性	4前		2							1
	小計(4科目)	—	2	6	0	1	1	0	0	0	5
社会理解	経済と社会Ⅰ	1前	2								1
	経済と社会Ⅱ	2前		2							1
	経済と社会Ⅲ	3前		2							1
	政治と社会	1前	2				1				
	法と社会	1後		2			1				
	メディアリテラシー	1前		2			1				
	日本国憲法	2前		2			1				
	民法入門	2前		2			1				
	女性と社会	2前	2				1				
	アドミニストレーション入門	2後		2							1
	人権論	3後		2			1				
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							1
	小計(13科目)	—	6	20	0	0	7	0	0	0	6
文学・歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1					
	日本文学史Ⅱ	1後		2					1		
	東アジア近現代史	1前		2			1				
	日本近現代史	2前		2							1
	小計(4科目)	—	0	8	0	1	1	0	1	0	1
	生涯学習概論	1前		2							1

卒業要件及び履修方法										
＜教養教育科目＞										
1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。										
2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。										
3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。										
＜専門教育科目＞										
1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。										
2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。										
3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。										
4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。										
5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。（履修科目の登録の上限：45単位（年間））										

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通開講科目	熊本学	1前		1		1					
	日本伝統文化入門	1後		1							1
	小計(2科目)	—	0	2	0	1	0	0	0	0	1
初年次教育	スタディスキル	1前	1			1		1			1
	基礎セミナー	1前	1			8	2	1	1		
	小計(2科目)	—	2	0	0	9	2	2	1	0	1
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅰ	1前	2			1					
	日本語表現Ⅱ	1後	2				1				1
	クリティカル・リーディング	1後	2			3	1	1			
	クリティカル・シンキング	2前	2			1	1				1
	小計(4科目)	—	8	0	0	5	3	1	0	0	2
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2								2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2							2
	国際日本学	1前		2		1	1				
	読書と豊かな人間性	4前		2							1
	小計(4科目)	—	2	6	0	1	1	0	0	0	5
社会理解	経済と社会Ⅰ	1後	2				1	1			1
	経済と社会Ⅱ	2前		2							1
	経済と社会Ⅲ	3前		2							1
	政治と社会	1前	2					1			
	法と社会	1後		2				1			
	メディアリテラシー	1前		2				1			
	日本国憲法	2後		2				1			
	民法入門	3前		2				1			
	女性と社会	2前	2				1				
	アドミニストレーション入門	2後		2							1
	人権論	3後		2				1			
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							1
	小計(13科目)	—	6	20	0	1	6	0	0	0	6
文学・歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1					
	日本文学史Ⅱ	1後		2					1		
	東アジア近現代史	1前		2			1				
	日本近現代史	2前		2							1
	小計(4科目)	—	0	8	0	2	0	0	1	0	1
	生涯学習概論	1前		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語教育	日本語学概論	1後		2			1				
	音声言語	2前		2			1				
	日本語史	4前		2		1					
	心理言語学	2前		2			1				
	日本語教育文法	3前		2			1				
	日本語教授法	3後		2			1				
	ことばと社会	4前		2		1					
	日本語教育実習	4前		2			1				
	小計(8科目)	-	0	16	0	2	6	0	0	0	0
体育	体育Ⅰ	1前		1							1
	体育Ⅱ	1後		1							1
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	2
キャリア形成	キャリア形成入門	1後	2								1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1					
	キャリアデザインⅡ	2後	1				1				
	インターンシップ	3前		1		1					
	小計(4科目)	-	4	1	0	2	1	0	0	0	1
専門導入科目	社会コミュニケーション論入門	1後		2		1					
	言語表現文化論入門	1後		2		1			1		
	情報メディア表現文化論入門	1後		2		1					
	観光文化学入門	1後		2				1			
	アジア事情	2前		2		1	2				
	文学研究概論	2前		2		1	1		1		
	メディア表現論	2前		2			1				
	観光文化論	2前		2				1			
	小計(8科目)	-	0	16	0	5	4	2	2	0	0
共通実践科目	社会学概論	2後		2			1				
	マーケティング論	2後		2		1					
	プレゼンテーション概論	2後		2		1					
	プレゼンテーション演習	3前		2			1				
	社会コミュニケーション実践論	2前		2		1					
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2			2	2	1			1
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2		2	2	1			1
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後		2		1					
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1					
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1				
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2							1
	小計(11科目)	-	2	20	0	9	7	2	0	0	3
実践外国語科目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1				
	検定中国語Ⅲ	3後		2			1				
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			2				
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語教育	日本語学概論	1後		2			1				
	音声言語	2前		2			1				
	日本語史	4前		2		1					
	心理言語学	2前		2			1				
	日本語教育文法	3前		2			1				
	日本語教授法	3後		2			1				
	ことばと社会	4前		2		1					
	日本語教育実習	4前		2			1				
	小計(8科目)	-	0	16	0	2	6	0	0	0	0
体育	体育Ⅰ	1前		1							1
	体育Ⅱ	1後		1							1
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	2
キャリア形成	キャリア形成入門	1後	2								1
	キャリアデザインⅠ	2前	1			1					
	キャリアデザインⅡ	2後	1				1				
	インターンシップ	3前		1		1					
	小計(4科目)	-	4	1	0	3	0	0	0	0	1
専門導入科目	社会コミュニケーション論入門	1後		2							1
	言語表現文化論入門	1後		2		1			1		
	情報メディア表現文化論入門	1後		2		1					
	観光文化学入門	1後		2		1					
	アジア事情	2前		2		2	1				
	文学研究概論	2前		2		1	1		1		
	メディア表現論	2前		2			1				
	観光文化論	2前		2				1			
	小計(8科目)	-	0	16	0	6	3	1	2	0	1
共通実践科目	社会学概論	2後		2			1				
	マーケティング論	2後		2							1
	プレゼンテーション概論	2後		2		1					1
	プレゼンテーション演習	3前		2							1
	社会コミュニケーション実践論	2前		2							1
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2				1	1			
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2		1		1			
	地域マネジメント研修Ⅰ	3前		2		1					
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1					
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1				
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2							1
	小計(11科目)	-	2	20	0	4	3	2	0	0	5
実践外国語科目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定中国語Ⅱ	3前		2		1					
	検定中国語Ⅲ	3後		2							1
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			1				
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践外国語科目	中国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2		1					
	検定韓国語Ⅱ	3前		2		1					
	検定韓国語Ⅲ	3後		2		1					
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2		1	1	1			
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2		1	1	1			
	TOEIC PreparationⅠ	2後		2				1			
文芸文化	TOEIC PreparationⅡ	3前		2		1					
	小計(16科目)	—	0	32	0	6	8	3	0	0	4
	名跡鑑賞	2後		2		1					
	表現ワークショップⅠ	2後		2							1
	表現ワークショップⅡ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2					1		
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					
	表現文化概論	2後		2					1		
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	書写・書道Ⅰ	3前		1		1					
情報メディア文化	書写・書道Ⅱ	3後		1		1					
	アジア書記史Ⅰ	3後		2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2		1					
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2					1		
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2					1		
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前		2			1				
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後		2			1				
	小計(17科目)	—	0	32	0	8	3	0	4	0	2
情報メディア文化	情報デザイン論	2後		2							1
	ジェンダー表象論	2後		2			1		1		1
	映像表現論	2後		2		1					
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1				1
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1				
	情報社会論	3前		2			1				
	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
実践外国語科目	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践外国語科目	中国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2		1					
	検定韓国語Ⅱ	3前		2		1					
	検定韓国語Ⅲ	3後		2		1					
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2			1				
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2		1	1	1			
	TOEIC PreparationⅠ	2後		2				1			
文芸文化	TOEIC PreparationⅡ	3前		2				1			
	小計(16科目)	—	0	32	0	5	5	3	0	0	5
	名跡鑑賞	2後		2		1					
	表現ワークショップⅠ	2後		2							1
	表現ワークショップⅡ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2					1		
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					
	表現文化概論	2後		2					1		
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	書写・書道Ⅰ	3前		1		1					
情報メディア文化	書写・書道Ⅱ	3後		1		1					
	アジア書記史Ⅰ	3後		2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2		1					
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2		1					
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2					1		
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2					1		
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前		2			1				
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後		2			1				
	小計(17科目)	—	0	32	0	8	3	0	4	0	2
情報メディア文化	情報デザイン論	2後		2							1
	ジェンダー表象論	2後		2			2				1
	映像表現論	2後		2		1					
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1				1
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1				
	情報社会論	3前		2			1				
	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
実践外国語科目	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
情報メディア文化	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1		1					
	Webデザイン演習Ⅱ	3前		1		1					
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							1
	小計(17科目)	—	0	32	0	7	8	0	1	0	4
日本・東アジア社会文化	東アジア関係史	2後		2			1				
	国際関係論	2後		2			1				
	日中文化交流史	2後		2			1				
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2				1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2				1			
	中国社会文化論	3前		2			1				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2			1				
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					
	熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					
	熊本国際交流史	2後		2			1	1			1
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	ものづくり論	4後		2							1
	小計(18科目)	—	0	36	0	4	11	3	0	0	2
観光文化	観光総論	2後		2		1		1			
	観光産業論	2後		2							1
	コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1			
	観光実務	3後		2		1		1			
	インバウンド・ツーリズム論	3後		2				1			
	旅行業法規	4前		2				1			
	フード・ツーリズム論	4前		2							1
	小計(7科目)	—	0	14	0	2	0	5	0	0	2
演習・卒論	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			8	8	2	1		
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			8	8	2	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	6			8	8	2	1		
	小計(3科目)	—	10	0	0	24	24	6	3	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
情報メディア文化	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1							1
	Webデザイン演習Ⅱ	3後		1							1
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							1
	小計(17科目)	—	0	32	0	5	9	0	0	0	6
日本・東アジア社会文化	東アジア関係史	2後		2		1					
	国際関係論	2後		2							1
	日中文化交流史	2後		2							1
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2		1		1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2		1		1			
	中国社会文化論	3前		2		1	2				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2		1					
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					
	熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					
	熊本国際交流史	2後		2			1	1			1
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	ものづくり論	4後		2							1
	小計(18科目)	—	0	36	0	9	8	3	0	0	4
観光文化	観光総論	2後		2		1		1			
	観光産業論	2後		2							1
	コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1			
	観光実務	3後		2							1
	インバウンド・ツーリズム論	3後		2		1					
	旅行業法規	4前		2				1			
	フード・ツーリズム論	4前		2							1
	小計(7科目)	—	0	14	0	2	0	3	0	0	3
演習・卒論	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			9	6	2	1		
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			9	6	2	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	6			9	6	2	1		
	小計(3科目)	—	10	0	0	27	18	6	3	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
司書に 関する 科目	図書館情報技術論	1後			2	1						
	図書館制度・経営 論	1後			2							1
	図書館サービス概 論	2前			2							1
	情報サービス演習 (A)	2前			1	1						
	情報サービス演習 (B)	2後			1							1
	図書館情報資源概 論	3前			2							1
	情報資源組織論	3前			2	1						
	情報資源組織演習 (A)	3後			1	1						
	情報資源組織演習 (B)	3後			1	1						
	図書館情報資源特 論	4前			1	1						
	図書館基礎特論	4前			1	1						
	図書・図書館史	4後			1							1
	図書館実習	4通			1	1						
	小計(13科目)	－	0	0	18	8	0	0	0	0	0	5
合計(193科目)		－	44	282	18	107	114	31	13	0	57	
卒業要件及び履修方法												
<教養教育科目> 1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。 2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。 3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。 <専門教育科目> 1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。 2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。 3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。 4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上を修得。 5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上を修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2	1						
	図書館制度・経営論	1後			2							1
	図書館サービス概論	2前			2							1
	情報サービス演習(A)	2後			1	1						
	情報サービス演習(B)	2後			1							1
	図書館情報資源概論	3前			2							1
	情報資源組織論	3前			2	1						
	情報資源組織演習(A)	3後			1	1						
	情報資源組織演習(B)	3後			1	1						
	図書館情報資源特論	4前			1	1						
	図書館基礎特論	4前			1	1						
	図書・図書館史	4後			1							1
	図書館実習	4通			1	1						
	小計(13科目)	－	0	0	18	8	0	0	0	0	0	5
合計(197科目)		－	44	286	18	123	84	28	11	0	70	
卒業要件及び履修方法												
<教養教育科目>												
1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。												
2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。												
3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。												
<専門教育科目>												
1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。												
2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。												
3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。												
4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。												
5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))												

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
初 年 次 教 育	スタディスキル	1前	1					1	1		
	基礎セミナー	1前	1			5	1	1			
	小計(2科目)	－	2	0	0	5	1	2	1	0	0
日 本 語 運 用 能 力 養 成	日本語表現Ⅰ	1前	2				1				
	日本語表現Ⅱ	1後	2				1				
	クリティカル・リー ディング	1後	2			1	3	2	1		
	クリティカル・シン キング	2前	2			1					
	小計(4科目)	－	8	0	0	2	5	2	1	0	0
文 化 理 解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2								2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2							2
	国際日本学	1前		2		1					
	読書と豊かな人間 性	4前		2							1
	小計(4科目)	－	2	6	0	1	0	0	0	0	5
社 会 理 解	経済と社会Ⅰ	1前	2			1					
	経済と社会Ⅱ	2前		2							1
	経済と社会Ⅲ	3前		2							1
	政治と社会	1前	2				1				
	法と社会	1後		2			1				
	メディアリテラシー	1前		2			1				
	日本国憲法	2前		2			1				
	民法入門	2前		2			1				
	女性と社会	2前	2				1				
	アドミニストレー ション入門	2後		2							1
	人権論	3後		2			1				
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							1
小計(13科目)	－	6	20	0	1	7	0	0	0	5	
文 学 ・ 歴 史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1					
	日本文学史Ⅱ	1後		2					1		
	東アジア近現代史	1前		2			1				
	日本近現代史	2前		2							1
	小計(4科目)	－	0	8	0	1	1	0	1	0	1
心 理 ・ 教 育	生涯学習概論	1前		2							1
	図書館概論	1前		2		1					
	生涯発達心理学	2前		2							1
	児童サービス論	2後		2							1
	教育心理学	3前		2							1
	特別支援教育概論	3後		2							1
	小計(6科目)	－	0	12	0	1	0	0	0	0	5

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
調 査 分 析 基 礎	基礎数学Ⅰ	1前		2			1				
	基礎数学Ⅱ	1後		2			1				
	情報処理Ⅰ	1前	1			1					
	情報処理Ⅱ	1後	1			1					
	課題探求プロジェクト入門	1後	2				1		1		
	社会調査法	1前		2			1				
	基礎統計Ⅰ	2前		2			1				
	基礎統計Ⅱ	2後		2			1				
	情報サービス論	2前		2		1					
	質的調査法	2前		2					1		
	応用統計	3後		2			1				
	小計(11科目)	—	4	16	0	3	7	0	2	0	0
多 文 化 コ ミ ュ ニ ケー ション	Communicative GrammarⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communicative GrammarⅢ	2前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅠ	1前	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅡ	1後	1			1	1	1			
	Communication WorkshopⅢ	2前	1			1	1	1			
	初級中国語Ⅰ	1前		1			2				
	初級中国語Ⅱ	1前		1			1				1
	初級中国語Ⅲ	1後		1			2				
	初級中国語Ⅳ	1後		1			1				1
	中国語コミュニケーションⅠ	2前		1			1				1
	中国語コミュニケーションⅡ	2前		1			1				1
	初級韓国語Ⅰ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅱ	1前		1		1					1
	初級韓国語Ⅲ	1後		1		1					1
	初級韓国語Ⅳ	1後		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前		1		1					1
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前		1							2
	海外語学研修(中国語)	1後		1			1				
	海外語学研修(韓国語)	1後		1		1					
	小計(20科目)	—	6	14	0	12	15	6	0	0	11

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
日 本 語 教 育	日本語学概論	1後		2			1				
	音声言語	2前		2			1				
	日本語史	4前		2		1					
	心理言語学	2前		2			1				
	日本語教育文法	3前		2			1				
	日本語教授法	3後		2			1				
	ことばと社会	4前		2		1					
	日本語教育実習	4前		2			1				
	小計(8科目)		0	16	0	2	6	0	0	0	0
体 育	体育Ⅰ	1前		1							1
	体育Ⅱ	1後		1							1
	小計(2科目)		0	2	0	0	0	0	0	0	2
キ ャ リ ア 形 成	キャリア形成入門	1後	2								1
	キャリアデザインⅠ	2前	1						1		
	キャリアデザインⅡ	2後	1						1		
	インターンシップ	3前		1		1					
	小計(4科目)		4	1	0	1	0	0	2	0	1
専 門 導 入 科 目	社会コミュニケーション論入門	1後		2		1					
	言語表現文化論入門	1後		2		1					
	情報メディア表現文化論入門	1後		2		1					
	観光文化学入門	1後		2				1			
	アジア事情	2前		2		1	1				
	文学研究概論	2前		2		1					
	メディア表現論	2前		2			1				
	観光文化論	2前		2				1			
	小計(8科目)		0	16	0	5	2	2	0	0	0
共 通 実 践 科 目	社会学概論	2後		2			1				
	マーケティング論	2後		2		1					
	プレゼンテーション概論	2後		2			1				
	プレゼンテーション演習	3前		2			1				
	社会コミュニケーション実践論	2前		2		1					
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2			2	2	1	1		
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2		2	2	1	1		
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後		2		1					
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1					
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1				
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2					1		
	小計(11科目)		2	20	0	8	8	2	3	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
実 践 外 国 語 科 目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1				
	検定中国語Ⅲ	3後		2			1				
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			2				
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1				
	中国語通訳・翻訳 演習	3後		2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2		1					
	検定韓国語Ⅱ	3前		2		1					
	検定韓国語Ⅲ	3後		2		1					
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							1
	韓国語通訳・翻訳 演習	3後		2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2		1	1	1			
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2		1	1	1			
	TOEIC Preparation Ⅰ	2後		2		1					
	TOEIC Preparation Ⅱ	3前		2		1					
	小計(16科目)		0	32	0	7	8	2	0	0	4
文 芸 文 化	名跡鑑賞	2後		2		1					
	表現ワークショッ プⅠ	2後		2							1
	表現ワークショッ プⅡ	3前		2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2					1		
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2		1					
	表現文化概論	2後		2					1		
	中国古典文化概論	2後		2			1				
	書写・書道Ⅰ	3前		1		1					
	書写・書道Ⅱ	3後		1		1					
	アジア書記史Ⅰ	3後		2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前		2		1					
	日本伝統文化史講 義Ⅰ	3前		2		1					
	日本伝統文化史講 義Ⅱ	3後		2		1					
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2					1		
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2					1		
	中国古典文化論講 義Ⅰ	3前		2			1				
	中国古典文化論講 義Ⅱ	3後		2			1				
	小計(17科目)		0	32	0	8	3	0	4	0	2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情 報 メ デ ィ ア 文 化	情報デザイン論	2後		2							1
	ジェンダー表象論	2後		2			1		1		
	映像表現論	2後		2		1					
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1				
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1				
	情報社会論	3前		2			1				
	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				
	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1		1					
	Webデザイン演習Ⅱ	3前		1		1					
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							1
	小計(17科目)		0	32	0	7	8	0	1	0	2
日 本 ・ 東 ア ジ ア 社 会 文 化	東アジア関係史	2後		2			1				
	国際関係論	2後		2			1				
	日中文化交流史	2後		2			1				
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2				1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前		2				1			
	中国社会文化論	3前		2			1				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2			1				
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					
	熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					
	熊本国際交流史	2後		2			1	1			
	多文化共生論	3後		2			1				
	国際社会と女性	4前		2			1				
	ものづくり論	4後		2							1
	小計(18科目)		0	36	0	4	11	3	0	0	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
観光文化	観光総論	2後		2		1		1			
	観光産業論	2後		2				1			
	コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1			
	観光実務	3後		2		1		1			
	インバウンド・ツーリズム論	3後		2				1			
	旅行業法規	4前		2				1			
	フード・ツーリズム論	4前		2							1
	小計(7科目)		0	14	0	2	0	6	0	0	1
演習・卒論	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			8	8	2	3		
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			8	8	2	3		
	卒業論文・卒業研究	4通	6			8	8	2	3		
	小計(3科目)		10	0	0	24	24	6	9	0	0
司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2						1
	図書館制度・経営論	1後			2	1					
	図書館サービス概論	2前			2						1
	情報サービス演習(A)	2前		1	1						
	情報サービス演習(B)	2後		1							1
	図書館情報資源概論	3前			2						1
	情報資源組織論	3前			2	1					
	情報資源組織演習(A)	3後		1	1						
	情報資源組織演習(B)	3後		1	1						
	図書館情報資源特論	4前			1	1					
	図書館基礎特論	4前			1	1					
	図書・図書館史	4後			1						1
	図書館実習	4通			1	1					
	小計(13科目)		0	0	18	8	0	0	0	0	5
合計(188科目)			44	277	18	102	106	31	24	0	45
卒業要件及び履修方法											
<教養教育科目> 1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。 2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。 3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。 <専門教育科目> 1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。 2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。 3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。 4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。 5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・授業規模の適正化の理由により、「スタディスキル」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職により、「日本語表現Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・リーディング」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1」から「教授1、准教授3、講師2、助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「読書と豊かな人間性」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「女性と社会」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「日本文学史Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・届出時の誤謬により、「東アジア近現代史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「生涯学習概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「図書館概論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「生涯発達心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「児童サービス論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- 担当教員の退職により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト入門」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報サービス論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「質的調査法」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「初級中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「初級中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職により、「キャリア形成入門」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「プレゼンテーション演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退の理由により、「社会調査法実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「声の文化論演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・授業規模の適正化の理由により、「熊本国際交流史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館情報技術論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館サービス概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報サービス演習(A)」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「図書館基礎特論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・教育効果向上の理由により、全学共通科目として「熊本学」を新規開設。専任教員等の配置は「教授1、准教授1」。
- ・教育効果向上の理由により、全学共通科目として「日本伝統文化入門」を新規開設。専任教員等の配置は「兼任1」。
- ・担当教員の他学部への配置換え及び教育効果向上の理由により、「スタディスキル」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「基礎セミナー」の専任教員等の配置を「教授5、准教授1、講師1」から「教授6、准教授3、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語表現Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換え及び授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・リーディング」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3、講師1、助教1」から「教授2、准教授1、講師2」に変更。
- ・授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・シンキング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1、兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「国際日本学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「経済と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「質的調査法」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「初級中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「准教授2」に変更。
- ・複数回の留学に対応するため、「海外語学研修（中国語）」を「海外語学研修（中国語Ⅰ）」及び「海外語学研修（中国語Ⅱ）」の2科目に変更。専任教員等の配置はいずれも「准教授1」。
- ・複数回の留学に対応するため、「海外語学研修（韓国語）」を「海外語学研修（韓国語Ⅰ）」及び「海外語学研修（韓国語Ⅱ）」の2科目に変更。専任教員等の配置はいずれも「教授1」。
- ・語学研修の効果向上の理由により、「海外語学研修（英語）」を新規配当。専任教員等の配置は「准教授2」。
- ・担当教員の退職により、「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「言語表現文化論入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「アジア事情」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「文学研究概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「社会調査法実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「TOEIC PreparationⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び教育効果向上の理由により、「ジェンダー表象論」の専任教員等の配置を「教授1、助教1」から「教授1、助教1、兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「アート表現論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・授業規模の適正化の理由により、「熊本国際交流史」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「准教授1、講師1、兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「観光産業論」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職及び他学部への配置換えの理由により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授8、講師2、助教3」を「教授8、准教授8、講師2、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び他学部への配置換えの理由により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授8、講師2、助教3」を「教授8、准教授8、講師2、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び他学部への配置換えの理由により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8、准教授8、講師2、助教3」を「教授8、准教授8、講師2、助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館情報技術論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館制度・経営論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。

【令和２年度】

- ・時間割編成の都合により、「熊本学」の専任教員の配置を「教授１、准教授１」から「教授１」に変更
- ・教育効果向上のため、「基礎セミナー」の専任教員の配置を「教授６、准教授３、講師１、助教１」から「教授８、准教授２、講師１、助教１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員の配置を「教授１、准教授１」から「教授１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルリーディング」の専任教員の配置を「教授２、准教授１、講師２」から「教授３、准教授１、講師１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルシンキング」の専任教員等の配置を「教授１、准教授１、助教１、兼任１」から「教授１、准教授１、兼任１」に変更
- ・「民法入門」の配当年次を「２前」から「３前」に変更
- ・担当教員（教授）の採用により、「女性と社会」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１」に変更
- ・担当教員が教授昇任により、「東アジア近現代史」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎数学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任１」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎数学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任１」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎統計Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任１」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎統計Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授２」を「教授１、准教授１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授２」から「教授１、准教授１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅲ」の専任教員の配置を「准教授２」から「教授１、准教授１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授１、兼任１」から「教授１、兼任１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「中国語コミュニケーションⅠ」の専任教員等の配置を「准教授１、兼任１」から「教授１、兼任１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「海外語学研修（中国語）Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「海外語学研修（中国語）Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１」に変更
- ・教育効果向上のため、講師１による「Fundamentals of EnglishⅠ」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・教育効果向上のため、准教授１による「Fundamentals of EnglishⅡ」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・教育効果向上のため、教授１、准教授１による「総合中国語」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・教育効果向上のため、教授１による「総合韓国語」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・時間割編成の都合により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１」に変更
- ・担当教員の退職により、「社会コミュニケーション論入門」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼任１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「アジア事情」の専任教員の配置を「教授１、准教授２」から「教授２、准教授１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１、兼任１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「プレゼンテーション演習」の専任教員の配置を「准教授１」から「兼任１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「社会コミュニケーション実践論」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼任１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授２、准教授２、講師１、兼任１」から「准教授１、講師１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授２、講師１、兼任１」から「教授１、講師１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「検定中国語Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「検定中国語Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ビジネス中国語Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授２」を「准教授１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ビジネス英語Ⅰ」の専任教員の配置を「教授１、准教授１、講師１」から「准教授１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「TOEIC PreparationⅡ」の専任教員の配置を「教授１」から「講師１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ジェンダー表象論」の専任教員等の配置を「准教授１、助教１、兼任１」から「准教授２、兼任１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「Webデザイン演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼任１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「Webデザイン演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼任１」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「東アジア関係史」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「国際関係論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼任１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日中文化交流史」准教授１を兼任１に変更した。
- ・時間割編成の都合により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅰ」の専任教員の配置を「講師１」から「教授１、講師１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅱ」の専任教員の配置を「講師１」から「教授１、講師１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「中国社会文化論」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１、准教授２」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「台湾社会文化論」の専任教員の配置を「准教授１」から「教授１」に変更
- ・時間割編成の都合により、「観光実務」の専任教員等の配置を「教授１、講師１」から「兼任１」に変更
- ・担当教員（教授）の採用により、「インバウンド・ツーリズム論」の専任教員の配置を「講師１」から「教授１」に変更
- ・担当教員の採用、昇任、退職により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授８、准教授８、講師２、助教１」から「教授９、准教授６、講師２、助教１」に変更
- ・担当教員の採用、昇任、退職により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授８、准教授８、講師２、助教１」から「教授９、准教授６、講師２、助教１」に変更
- ・担当教員の採用、昇任、退職により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員の配置を「教授８、准教授８、講師２、助教１」から「教授９、准教授６、講師２、助教１」に変更

【令和3年度】

- ・教育効果向上のため、「熊本学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任及び教育効果向上のため、「基礎セミナー」の専任教員等の配置を「教授8、准教授2、助教1」から「教授9、准教授2、助教1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルリーディング」の専任教員の配置を「教授3、准教授1、講師1」から「教授2、准教授2、講師1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルシンキング」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、兼任1」から「教授1、兼任1」に変更
- ・専任教員の採用により、「経済と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・教育効果向上のため、「経済と社会Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「政治と社会」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「法と社会」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「日本国憲法」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「民法入門」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「人権論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・専任教員の採用により、「簿記・会計Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・専任教員の採用により、「日本近現代史」の専任教員等の配置を「兼務1」から「教授2、兼任1」に変更
- ・教育効果向上のため、兼任1による、「原書で楽しむ絵本の世界（英語）」を新設
- ・時間割編成の都合により、「応用統計」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「初級中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授1、兼任1」を「教授1、准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日本語教育文法」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・専任教員の採用により、「社会コミュニケーション論入門」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「観光文化論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の採用により、「マーケティング論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「社会コミュニケーション実践論」の配当年次を2年前期から2年後期に変更、また、専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1、講師1」から「准教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「社会調査法実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「検定中国語Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」を「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「検定韓国語Ⅲ」の専任教員の配置を「教授1」を「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ビジネス英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「講師1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「ジェンダー表象論」の専任教員の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「文化社会学」の専任教員等の配置を「准教授1」を「兼任1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「中国社会文化論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「アジア経済論」の配当年次を4年前期から4年後期に変更、また、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「熊本国際交流史」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、兼任1」から「准教授2、兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ものづくり論」の配当年次を4年後期から4年通年に変更、また、専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「観光総論」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・担当教員の准教授昇任により、「コンテンツ・ツーリズム論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「旅行業法規」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「フード・ツーリズム論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授6、講師2、助教1」から「教授10、准教授6、講師1、助教1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授6、講師2、助教1」から「教授10、准教授6、講師1、助教1」に変更
- ・担当教員の昇任により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員の配置を「教授9、准教授6、講師2、助教1」から「教授10、准教授6、講師1、助教1」に変更

【令和4年度】

- ・学修効果向上のため、「熊本学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更
- ・担当教員の講師昇任および教育効果向上のため、「基礎セミナー」の専任教員等の配置を「教授8、准教授2、講師1、助教1」から「教授8、准教授2、講師1、兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日本語表現Ⅰ」の担当教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更
- ・学修効果向上のため、「クリティカルリーディング」の専任教員の配置を「教授3、准教授1、講師1」から「教授2、准教授2、講師2、助教1」に変更
- ・別科目と内容が重複するため、「クリティカル・シンキング」を廃止
- ・専任教員の採用により、「キャリア形成入門」の担当教員の配置を、「兼任1」から「教授1」に変更
- ・カリキュラム見直しにより、「日本文学史Ⅰ」と「日本文学史Ⅱ」を統合し、「日本文学史」に変更
- ・カリキュラム見直しにより、「東アジア近現代史」を「東アジア史」に変更
- ・「経済と社会Ⅰ」を「経済と社会」に名称変更し、担当教員の退職により専任教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更
- ・担当教員の退職により、「マーケティング論」の専任教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更
- ・履修者が少なく学修効果が望みにくいため「経済と社会Ⅱ」を廃止
- ・教育効果向上のため、准教授1による「まちづくりと観光」を新設
- ・履修者が少なく学修効果が望みにくいため「民法入門」を廃止
- ・教育効果向上のため、「アドミニストレーション入門」の専任教員配置を「兼任1」から「教授1」に変更
- ・「簿記・会計Ⅰ」を「簿記・会計」に名称変更
- ・履修者が少なく学修効果が望みにくいため「簿記・会計Ⅱ」を廃止
- ・一般教養科目として1科目に統合することが適切であるため、「日本文学史Ⅱ」を廃止
- ・履修者が少なく学修効果が望みにくいため「生涯発達心理学」を廃止
- ・履修者が少なく学修効果が望みにくいため「特別支援教育概論」を廃止
- ・カリキュラム見直しにより、「原書で楽しむ絵本の世界」を新設
- ・カリキュラム見直しにより、「読書と豊かな人間性」を新設
- ・学修効果向上のため、「政治と社会」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・カリキュラム見直しにより、「経済と社会Ⅰ」「経済と社会Ⅱ」「経済と社会Ⅲ」を統合し、「経済と社会」に変更
- ・カリキュラム見直しにより、「まちづくりと観光」を新設
- ・履修者が少なく別科目で内容を補うことが可能であるため「基礎数学Ⅱ」を廃止
- ・時間割編成の都合により、「応用統計」の専任教員の配置を「兼任1」から「助教1」に変更
- ・別科目に統合することでより高い学修効果が得られると判断したため「基礎統計Ⅱ」を廃止
- ・「基礎統計Ⅱ」を廃止したことにより、「基礎統計Ⅰ」を「基礎統計」に名称変更
- ・時間割編成の都合により、「基礎統計」の専任教員の配置を「准教授1」から「助教1」に変更
- ・履修者が少なく学修効果が望みにくいため「Fundamentals of English Ⅱ」を廃止
- ・「Fundamentals of English Ⅱ」廃止にともない、「fundamentals of English Ⅰ」を「Fundamentals of English」に名称変更
- ・時間割編成の都合により、「初級中国語Ⅰ」の担当教員の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、兼任1」に変更
- ・時間割編成の都合により、「初級中国語Ⅱ」の担当教員の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、兼任2」に変更
- ・時間割編成の都合により、「初級中国語Ⅳ」の担当教員の配置を「教授1、兼任1」から「教授1、准教授1」に変更
- ・カリキュラム見直しにより、「海外語学研修（英語Ⅰ）」を新設
- ・カリキュラム見直しにより、「海外語学研修（英語Ⅱ）」を新設
- ・教育効果向上のため、准教授1による「日本語教育入門」を新設
- ・キャリア教育科目の充実のため教授1、准教授1による「インターンシップⅠ」を新設
- ・「インターンシップⅠ」の新設に伴い、従来の「インターンシップ」を「インターンシップⅡ」に名称変更
- ・時間割編成の都合により、「日本語表現Ⅱ」の専任教員の配置を教授1から助教1に変更
- ・「言語表現文化論入門」を「文芸文化論入門」に名称変更
- ・「情報メディア表現文化論入門」を「情報メディア論入門」に名称変更
- ・教育効果向上のため、教授2、准教授1による「アジア研究入門」を新設
- ・教育効果向上のため、教授1による「日本文学史」を新設
- ・教育効果向上のため、教授1による「地域コミュニティ論」を新設
- ・「地域マネジメント研修Ⅰ」を「地域マネジメント演習Ⅰ」に名称変更
- ・「地域マネジメント研修Ⅱ」を「地域マネジメント演習Ⅱ」に名称変更
- ・「ビジネス中国語Ⅰ」を「応用中国語Ⅰ」に名称変更
- ・「ビジネス中国語Ⅱ」を「応用中国語Ⅱ」に名称変更
- ・「ビジネス韓国語Ⅰ」を「応用韓国語Ⅰ」に名称変更
- ・「ビジネス韓国語Ⅱ」を「応用韓国語Ⅱ」に名称変更
- ・教育効果向上のため、准教授1による「英会話」を新設
- ・「ビジネス英語Ⅰ」を「英語応用Ⅰ」に名称変更
- ・「ビジネス英語Ⅱ」を「英語応用Ⅱ」に名称変更
- ・「TOEIC Preparation Ⅰ」を「検定英語Ⅰ」に名称変更
- ・「TOEIC Preparation Ⅱ」を「検定英語Ⅱ」に名称変更
- ・教育効果向上のため、教授1による「検定英語Ⅲ」を新設
- ・別科目に統合することでより高い学修効果が得られると判断したため「名跡鑑賞」を廃止
- ・別科目に統合することでより高い学修効果が得られると判断したため「アジア書記史Ⅰ」を廃止
- ・別科目に統合することでより高い学修効果が得られると判断したため「アジア書記史Ⅱ」を廃止
- ・「書写・書道Ⅰ」を「書道Ⅰ」に名称変更
- ・「書写・書道Ⅱ」を「書道Ⅱ」に名称変更
- ・教育効果向上のため、「講師1」による「日本文化文学論」を新設
- ・教育効果向上のため、「教授1、講師1」による「文芸文化特論」を新設
- ・別科目と内容が重複するため、「ソーシャルメディア論」を廃止
- ・「日中文化交流史」を「アジア国際交流史Ⅰ」に名称変更
- ・「中国社会文化論」を「中国社会文化論Ⅰ」に名称変更
- ・教育効果向上のため、「教授1」による「中国社会文化論Ⅱ」を新設
- ・「韓国社会文化論」を「韓国社会文化論Ⅰ」に名称変更
- ・教育効果向上のため、「教授1」による「韓国社会文化論Ⅱ」を新設
- ・「熊本の文化Ⅰ」を「熊本の文化Ⅱ」に名称変更
- ・「熊本の文化Ⅱ」を「観光文化総合研究」に名称変更
- ・「熊本国際交流史」を「アジア国際交流史Ⅱ」に名称変更
- ・「ものづくり論」を「ツーリズム論演習Ⅰ」に名称変更

- ・「コンテンツ・ツーリズム論」を「ツーリズム論I」に名称変更
- ・「観光実務」を「観光地経営論」に名称変更
- ・「インバウンド・ツーリズム論」を「ツーリズム論II」に名称変更
- ・教育効果向上のため、「旅行業法規」が「ツーリズム論II」に内容を統合されたため廃止
- ・教育効果向上のため、「フード・ツーリズム論」が「ツーリズム論演習II」に内容を統合されたため廃止

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
26 科目	149 科目	13 科目	188 科目	26 科目 []	159 科目 []	13 科目 []	198 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	クリティカル・シンキング	2	2年前	一般	必修	学修内容が重複する科目があるため。代替措置なし
2	経済と社会II	2	2年前	一般	選択	学修内容が重複する科目があるため。代替措置なし
3	民法入門	2	2年前	一般	選択	履修者が少なく学修効果が望みにくいため。代替措置なし
4	簿記会計II	2	3年後			履修者が少なく学修効果が望みにくいため。代替措置なし
5	日本文学史II	2	1年後	一般	選択	一般教養科目として1科目に統合することが適切であるため。代替措置なし
6	生涯発達心理学	2	2年後	一般	選択	履修者が少なく学修効果が望みにくいため。代替措置なし
7	特別支援教育概論	2	3年後	一般	選択	履修者が少なく学修効果が望みにくいため。代替措置なし
8	基礎数学II	2	1年後	一般	選択	履修者が少なく学修効果が望みにくいため。代替措置なし
9	基礎統計II	2	2年後	一般	選択	学修内容が重複する科目があるため。代替措置なし
10	Elementals of English II	2	1年後	一般	選択	履修者が少なく学修効果が望みにくいため。代替措置なし
11	アジア書紀史I	2	3年後	専門	選択	学修内容が重複する科目があるため。代替措置なし
12	アジア書紀史II	2	4年前	専門	選択	学修内容が重複する科目があるため。代替措置なし
13	ソーシャルメディア論	2	4年前	専門	選択	学修内容が重複する科目があるため。代替措置なし
14	アジア経済論	2	4年前	専門	選択	履修者が少なく学修効果が望みにくいため。代替措置なし
15	名跡鑑賞	2	2年後	専門	選択	学修内容が重複する科目があるため。代替措置なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラムの改善を行ったことで、いくつかの科目を廃止した。これは、履修者数が極めて少なく学修効果が望みにくい、もしくは別科目と学修内容に重複があるため、該当する別科目で学修内容をカバーすることが適切と判断したためである。学生には、学期のはじめのオリエンテーションおよび履修指導を通じて周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{15}{188} = \boxed{7.97}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	九品寺キャンパスへ移 転したことに伴い、専 用校舎敷地を法人へ移 動、また、運動場用地 は短大専用となったた め					
	校 舎 敷 地	4,029.20㎡ 38,943.20㎡	5,700㎡	48,783㎡	58,512.20㎡ 93,426.20㎡						
	運動場用地	0.00㎡	0.00㎡ 3,249.89㎡	3,249.89㎡ 0.00㎡	3,249.89㎡						
	小 計	4,029.20㎡ 38,943.20㎡	5,700㎡ 8,949.89㎡	52,032.89㎡ 48,783㎡	61,762.09㎡ 96,676.09㎡						
	そ の 他	㎡	492.14㎡	㎡	492.14㎡						
	合 計	4,029.20㎡ 38,943.20㎡	6,192.14㎡ 9,442.03㎡	52,032.89㎡ 48,783㎡	62,254.23㎡ 97,168.23㎡						
(2) 校 舎	専 用	8,676.21㎡ 11,677.42㎡ (11,677.42㎡)	10,021.87㎡ 13,796.08㎡ (13,796.08㎡)	12,473.64㎡ 11,159.64㎡ (11,159.64㎡)	31,171.13㎡ 36,633.14㎡ (36,633.14㎡)	九品寺キャンパスへ移 転したため、九品寺 キャンパスにおける校 舎のみとした					
	共 用										
(3) 教 室 等	講 義 室	8室	演 習 室	2室	実験実習室	0室	情報処理学習施設	2室 (補助職員 人)	語学学習施設	1室 (補助職員 人)	九品寺キャンパスへ移 転したため、九品寺 キャンパスにおける校 舎のみとした
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称				室 数		(例) 令和4年4月 専任教員1名を新規 採用のため(4)			
		現代文化学部文化コミュニケーション学科				24 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	「学部単位での特定が不 能なため、武蔵ヶ丘キャン パス（2学科分）の 数」（30） 蔵書点検後の九品寺図書 館の冊数（4） 九品寺キャンパスへ移 転したため、九品寺キャン パスの数（3） 資料を受入したため （2） 資料を受入したため （元） 「学部単位での特定が不 能なため、武蔵ヶ丘キャン パス（2学科分）の 数」（30） 蔵書点検後の九品寺図書 館の冊数（4） 九品寺キャンパスへ移 転したため、九品寺キャン パスの数（3） 資料を受入したため （2） 資料を受入したため （元）			
	現代文化学部	125,554 [12,013] 111,781 [11,931] 145,929[5,973] 157,817[6,778] 115,989[12,129] 114,579 [11,896] 112,554 [11,713] -(98,781-[11,631])	1,793 [50] 1,784 [54] 702[34] 700[31] 1,783[48] 1,783 [48] -(1,774 [52])	2 [0] (0 [0])	2,914 2,909 2,352 2,257 2,654 2,626 2,614 -(2,609)	3 (0)	0 (0)				
	計	125,554 [12,013] 111,781 [11,931] 145,929[5,973] 157,817[6,778] 115,989[12,129] 114,579 [11,896] 112,554 [11,713] -(98,781-[11,631])	1,793 [50] 1,784 [54] 702[34] 700[31] 1,783[48] 1,783 [48] -(1,774 [52])	2 [0] (0 [0])	2,914 2,909 2,352 2,257 2,654 2,626 2,614 -(2,609)	3 (0)	0 (0)				
(6) 図 書 館	面 積	1,246㎡ 977㎡ 898㎡		閱 覧 座 席 数	82 100	収 納 可 能 冊 数	180,000 120,000	九品寺キャンパスに移 転したため(3) 書庫を改修したため(30)			
(7) 体 育 館	面 積	2,472㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要							
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	私立大学等経常費補助金、手数料収入、雑収入 等			
		教員1人当り研究費等	100千円	90千円	図書購入費	3,650千円	3,200千円				2,500千円
	共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円				
	学生1人当 り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	納付金	1,110千円	840千円	840千円	840千円	千円	千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（4）」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	尚 綱 大 学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
現代文化学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文化コミュニケーション学科	4	75	-	300	学士 (文学)	0.59	0.56	-	平成30	熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78	令和3年4月移転
生活科学部											
栄養科学科	4	70	3年次10	300	学士 (栄養学)	1.09	0.94		平成18	同上	
文化言語学部											
文化言語学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-			昭和50	熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1	平成30年学生募集停止 令和3年度末廃止
大学全体	-	145	20	600	-	0.91	0.74	-	-	-	

大学 の 名 称	尚 綱 大 学 短 期 大 学 部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
総合生活学科	2	80	-	160	短期大学士 (生活学)	0.63	0.66	-	昭和27年度	熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78	
食物栄養学科	2	80	-	160	短期大学士 (食物栄養学)	0.94	0.80	-	昭和42年度	熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78	
幼児教育学科	2	150	-	300	短期大学士 (幼児教育学)	0.99	0.94	-	昭和43年度	熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1	
大学全体	-	310	-	620	-	0.88	0.83	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び

高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。

・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の

入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜現代文化学部 文化コミュニケーション学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専 教授		林田 俊一郎 (61) ＜平成30年4月＞ 教育学士		専 教授		林田 俊一郎 (62) ＜平成30年4月＞ 教育学士		専 教授		林田 俊一郎 (63) ＜平成30年4月＞ 教育学士		専 教授		林田 俊一郎 (64) ＜平成30年4月＞ 教育学士	
		基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書紀史Ⅰ アジア書紀史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書紀史Ⅰ アジア書紀史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書紀史Ⅰ アジア書紀史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				キャリアデザインⅡ インターンシップ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書紀史Ⅰ アジア書紀史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専 教授		武田 昌憲 (62) ＜平成30年4月＞ 文学修士		専 教授		武田 昌憲 (65) ＜平成30年4月＞ 文学修士		専 教授		武田 昌憲 (66) ＜平成30年4月＞ 文学修士		専 教授		武田 昌憲 (67) ＜平成30年4月＞ 文学修士	
		基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 日本文学史Ⅱ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅰ 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅲ 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				第1本学 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅰ 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅲ 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				第1本学 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅰ 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅲ 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				第1本学 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅰ 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅲ 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専 教授		中川 明夫 (58) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）		専 教授		中川 明夫 (59) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）		専 教授		中川 明夫 (60) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）		専 教授		中川 明夫 (61) ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	
		初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修（韓国語） アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 韓国国際交流史 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修Ⅰ（韓国語） 海外語学研修Ⅱ（韓国語） アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修Ⅰ（韓国語） 海外語学研修Ⅱ（韓国語） アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				基礎セミナー ※ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修Ⅰ（韓国語） 海外語学研修Ⅱ（韓国語） アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論Ⅰ 韓国社会文化論Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専 教授		小沢 日美子 (57) ＜平成30年4月＞ 修士（心理学）		専 教授				専 教授				専 教授			
		クリティカル・リーディング 女性と社会 生涯発達心理学 教育心理学 質的調査法 プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究													
専 教授		所 吉彦 (56) ＜平成30年4月＞ 修士（経営学）		専 教授		所 吉彦 (57) ＜平成30年4月＞ 修士（経営学）		専 教授				専 教授			
		クリティカル・シンキング 経済と社会Ⅰ 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				クリティカル・シンキング 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	桑原 芳哉 (56) <平成30年4月> 修士 (図書館情報学)	読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 図書館情報技術論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 (A) 情報資源組織演習 (B) 図書館情報資源特論 図書館実習
専	教授	釜賀 誠一 (55) <平成30年4月> 博士 (工学)	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ Webデザイン演習Ⅰ Webデザイン演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	竹下 裕俊 (52) <平成30年4月> 文学修士	基礎セミナー ※ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ インタビュ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	晶山 真一 (47) <平成30年4月> 博士 (学術)	基礎セミナー ※ 国際日本学 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文化論入門 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史Ⅰ 映画とアニメーション史Ⅱ 映像と音響 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	准教授	北口 英穂 (44) <平成30年4月> 博士 (中国研究)	基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ 海外語学研修 (中国語) 検定中国語Ⅰ 検定中国語Ⅱ 検定中国語Ⅲ 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	桑原 芳哉 (58) <平成30年4月> 修士 (図書館情報学)	基礎セミナー ※ スタディスキル 図書館情報技術論 情報サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 情報資源組織論 情報資源組織演習 (A) 情報資源組織演習 (B) 図書館情報資源特論 図書館実習
専	教授	釜賀 誠一 (57) <平成30年4月> 博士 (工学)	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ Webデザイン演習Ⅰ Webデザイン演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	竹下 裕俊 (54) <平成30年4月> 文学修士	基礎セミナー ※ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ インタビュ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	晶山 真一 (49) <平成30年4月> 博士 (学術)	基礎セミナー ※ 国際日本学 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文化論入門 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史Ⅰ 映画とアニメーション史Ⅱ 映像と音響 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	准教授	北口 英穂 (46) <平成30年4月> 博士 (中国研究)	基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ 海外語学研修Ⅰ (中国語) 海外語学研修Ⅱ (中国語) 中国語コミュニケーションⅠ アジア事情 ※ 東アジア関係史 検定中国語Ⅰ 検定中国語Ⅱ 検定中国語Ⅲ 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	桑原 芳哉 (60) <平成30年4月> 修士 (図書館情報学)	基礎セミナー ※ スタディスキル クリティカルシンキング 日本近現代史 図書館情報技術論 情報サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 情報資源組織論 情報資源組織演習 (A) 情報資源組織演習 (B) 図書館情報資源特論 図書館実習
専	教授	釜賀 誠一 (59) <平成30年4月> 博士 (工学)	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ Webデザイン演習Ⅰ Webデザイン演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	竹下 裕俊 (56) <平成30年4月> 文学修士	基礎セミナー ※ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ インタビュ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	晶山 真一 (51) <平成30年4月> 博士 (学術)	基礎セミナー ※ 国際日本学 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文化論入門 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史Ⅰ 映画とアニメーション史Ⅱ 映像と音響 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	准教授	北口 英穂 (48) <平成30年4月> 博士 (中国研究)	基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ 海外語学研修Ⅰ (中国語) 海外語学研修Ⅱ (中国語) 中国語コミュニケーションⅠ アジア事情 ※ 東アジア関係史 検定中国語Ⅰ 検定中国語Ⅱ 検定中国語Ⅲ 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

専任・兼任・兼任の別			氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等			専任・兼任・兼任の別			氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等			専任・兼任・兼任の別			氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等		
職名			担当授業科目名			職名			担当授業科目名			職名			担当授業科目名		
専						専	教授	柳田 紀代子 (82) ＜令和2年4月＞ 修士（公共政策学）			専	教授	柳田 紀代子 (83) ＜令和2年4月＞ 修士（公共政策学）		専	教授	柳田 紀代子 (84) ＜令和2年4月＞ 修士（公共政策学）
								基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 政治と社会 観光文化入門 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 観光総論 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 数本の文化Ⅱ インバウンド・ツーリズム論					基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 政治と社会 キャリアデザインⅠ 観光文化入門 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 観光総論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 数本の文化Ⅱ インバウンド・ツーリズム論 フード・ツーリズム論 ものづくり論				基礎セミナー ※ 数本学 政治と社会 地域コミュニティ論 観光まちづくり論 キャリアデザインⅠ 観光総論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光文化総合研究 観光コミュニケーション演習Ⅰ 観光コミュニケーション演習Ⅱ ツーリズム論演習Ⅰ 卒業論文・卒業研究 観光文化入門
専	准教授	岡田 則浩 (55) ＜平成30年4月＞ 工学修士		准教授	岡田 則浩 (56) ＜平成30年4月＞ 工学修士	専	准教授	クリティカル・リーディング 基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 基礎統計Ⅰ 基礎統計Ⅱ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			専	准教授	クリティカル・リーディング 基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 基礎統計Ⅰ 基礎統計Ⅱ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				
		政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 人権論 ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			数本学 基礎セミナー ※ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 女性と社会 人権論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			数本学 基礎セミナー ※ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 人権論 ジェンダー表象論 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究					数本学 基礎セミナー ※ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 人権論 ジェンダー表象論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				
専	准教授	宇野（遠山）文重 (45) ＜平成30年4月＞ 博士（法学）		准教授	宇野（遠山）文重 (46) ＜平成30年4月＞ 博士（法学）	専	准教授	宇野（遠山）文重 (47) ＜平成30年4月＞ 博士（法学）			専	教授	宇野（遠山）文重 (48) ＜平成30年4月＞ 博士（法学）		専	教授	宇野（遠山）文重 (49) ＜平成30年4月＞ 博士（法学）
		政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 人権論 ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			数本学 基礎セミナー ※ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 女性と社会 人権論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			数本学 基礎セミナー ※ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 人権論 ジェンダー表象論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究					数本学 基礎セミナー ※ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 人権論 ジェンダー表象論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究				
															専	教授	塩谷 さやか (54) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
																	インターンシップ キャリア形成入門 クリティカル・リーディング キャリアデザインⅡ 社会コミュニケーション論 入門
														専	准教授	小野澤 泰子 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（人文地理学）	
																基礎セミナー ※ まちづくりと観光 クリティカル・リーディング 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 観光総論 課題探究プロジェクト演習Ⅱ コンテンツ・ツーリズム論 インターンシップ 旅行業法規 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					三浦 知志 (42) <平成30年4月> 博士(情報科学)			三浦 知志 (44) <平成30年4月> 博士(情報科学)			三浦 知志 (45) <平成30年4月> 博士(情報科学)
			専	准教授	基礎セミナー ※ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 国際日本学 メディアリテラシー 課題探究プロジェクト入門 メディア表現論 キャリアデザインⅡ プレゼンテーション演習 ジェンダー表象論 ※ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	准教授	基礎セミナー ※ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 国際日本学 メディアリテラシー 課題探究プロジェクト入門 クリティカル・シンキング メディア表現論 ジェンダー表象論 ※ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	准教授	基礎セミナー ※ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 国際日本学 メディアリテラシー ジェンダー表象論 ※ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会論 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
			専	講師	金 承珠 (38) <平成30年4月> 博士(国際地域学)	専	講師	金 承珠 (40) <平成30年4月> 博士(国際地域学)	専	准教授	金 承珠 (41) <平成30年4月> 博士(国際地域学)
			専	講師	基礎セミナー ※ 観光文化学入門 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 観光産業論 コンテンツ・ツーリズム論 観光義務 ※ インバウンド・ツーリズム論 旅行業法規 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	専	講師	基礎セミナー ※ 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 観光産業論 コンテンツ・ツーリズム論 観光義務 ※ インバウンド・ツーリズム論 旅行業法規 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	専	准教授	基礎セミナー ※ 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 観光産業論 コンテンツ・ツーリズム論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習
			専	講師	柚木 繁之 (48) <平成30年4月> 博士(言語教育学)	専	講師	柚木 繁之 (51) <平成30年4月> 博士(言語教育学)	専	講師	柚木 繁之 (52) <平成30年4月> 博士(言語教育学)
			専	講師	スタディスキル クリティカル・リーディング Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	講師	スタディスキル クリティカル・リーディング Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	講師	スタディスキル クリティカル・リーディング Fundamentals of EnglishⅠ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
			専	助教	川上(多田) 知里 (32) <平成30年4月> 博士(文学)						
			専	助教	日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 課題探究プロジェクト入門 キャリア形成入門 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 課題探究プロジェクト演習Ⅰ 課題探究プロジェクト演習Ⅱ 表現文化概論 文芸文化論講義Ⅰ 文芸文化論講義Ⅱ ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究						

専任・兼任・兼任の別			氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等			専任・兼任・兼任の別			氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等			専任・兼任・兼任の別			氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等		
職名			担当授業科目名			職名			担当授業科目名			職名			担当授業科目名		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	飯富 章宏 (62) ＜平成30年4月＞ 経済学士	兼任	講師	飯富 章宏 (63) ＜平成30年4月＞ 経済学士	兼任	講師	飯富 章宏 (64) ＜平成30年4月＞ 経済学士	兼任	講師	飯富 章宏 (65) ＜平成30年4月＞ 経済学士
		日本伝統文化Ⅰ ※			日本伝統文化Ⅰ ※			日本伝統文化Ⅰ ※			
兼任	講師	吉田 裕美子 (65) ＜平成31年4月＞ 短大卒業	兼任	講師	吉田 裕美子 (66) ＜平成31年4月＞ 短大卒業	兼任	講師	吉田 裕美子 (67) ＜平成31年4月＞ 短大卒業	兼任	講師	吉田 裕美子 (68) ＜平成31年4月＞ 短大卒業
		日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			
兼任	講師	下城 香 (75) ＜平成31年4月＞ 短大卒業	兼任	講師	下城 香 (76) ＜平成31年4月＞ 短大卒業	兼任	講師	下城 香 (77) ＜平成31年4月＞ 短大卒業	兼任	講師	下城 香 (79) ＜平成31年4月＞ 短大卒業
		日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			日本伝統文化Ⅱ ※			
兼任	講師	宮島 克宣 (70) ＜平成32年4月＞ 経済学士	兼任	講師	宮島 克宣 (71) ＜平成32年4月＞ 経済学士	兼任	講師	宮島 克宣 (72) ＜平成32年4月＞ 経済学士	兼任	講師	宮島 克宣 (74) ＜平成32年4月＞ 経済学士
		簿記・会計Ⅰ 簿記・会計Ⅱ			簿記・会計Ⅰ 簿記・会計Ⅱ			簿記・会計Ⅰ 簿記・会計Ⅱ			
兼任	講師	古田 弘子 (59) ＜平成32年4月＞ 博士（心身障害学）	兼任	講師	古田 弘子 (60) ＜平成32年4月＞ 博士（心身障害学）	兼任	講師	古田 弘子 (61) ＜平成32年4月＞ 博士（心身障害学）	兼任	講師	古田 弘子 (63) ＜平成32年4月＞ 博士（心身障害学）
		特別支援教育概論			特別支援教育概論			特別支援教育概論			
兼任	講師	渡辺 善文 (49) ＜平成31年4月＞ 高校卒業	兼任	講師	渡辺 善文 (50) ＜平成31年4月＞ 高校卒業	兼任	講師	渡辺 善文 (51) ＜平成31年4月＞ 高校卒業	兼任	講師	渡辺 善文 (52) ＜平成31年4月＞ 高校卒業
		情報デザイン論			アート表現論Ⅰ 情報デザイン論			アート表現論Ⅰ 情報デザイン論 プレゼンテーション概論			
兼任	講師	房 瑋 (54) ＜平成31年4月＞ 文学修士	兼任	講師	房 瑋 (55) ＜平成31年4月＞ 文学修士	兼任	講師	房 瑋 (56) ＜平成31年4月＞ 文学修士	兼任	講師	房 瑋 (57) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ			中国語コミュニケーションⅠ			中国語コミュニケーションⅡ 初級中国語Ⅳ			
兼任	講師	濱名 理香 (54) ＜平成31年4月＞ 文学士	兼任	講師	濱名 理香 (55) ＜平成31年4月＞ 文学士	兼任	講師	濱名 理香 (56) ＜平成31年4月＞ 文学士	兼任	講師	濱名 理香 (57) ＜平成31年4月＞ 文学士
		表現ワークショップⅠ 表現ワークショップⅡ			表現ワークショップⅠ ジェンダー概論			表現ワークショップⅠ ジェンダー概論			
兼任	講師	跡上 史郎 (50) ＜平成32年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	跡上 史郎 (51) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	跡上 史郎 (52) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	跡上 史郎 (53) ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		表現ワークショップⅡ			表現ワークショップⅡ			表現ワークショップⅡ			
兼任	講師	本田 暁美 (64) ＜平成32年4月＞ 学士（中国語）	兼任	講師	本田 暁美 (65) ＜平成30年4月＞ 学士（中国語）	兼任	講師	本田 暁美 (66) ＜平成30年4月＞ 学士（中国語）	兼任	講師	本田 暁美 (67) ＜平成30年4月＞ 学士（中国語）
		中国語通訳・翻訳演習			中国語コミュニケーションⅡ 初級中国語Ⅳ 中国語通訳・翻訳演習			中国語コミュニケーションⅠ 検定中国語Ⅲ 中国語通訳・翻訳演習			
兼任	講師	田村 由紀子 (50) ＜平成33年4月＞ 専門学校卒業	兼任	講師	田村 由紀子 (51) ＜平成30年4月＞ 専門学校卒業	兼任	講師	田村 由紀子 (52) ＜平成30年4月＞ 専門学校卒業	兼任	講師	
		ファッション文化史			ファッション文化史			ファッション文化史			
兼任	講師	桑原 由吏子 (50) ＜平成30年4月＞ 修士（図書館情報学）	兼任	講師	桑原 由吏子 (56) ＜平成30年4月＞ 修士（図書館情報学）	兼任	講師	桑原 由吏子 (57) ＜平成30年4月＞ 修士（図書館情報学）	兼任	講師	桑原 由吏子 (59) ＜平成30年4月＞ 修士（図書館情報学）
		図書館概論 情報サービス論 情報サービス演習（A） 情報サービス演習（B） 図書館情報資源概論 図書館基礎特論 図書・図書館史			読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 図書館サービス概論 図書・図書館史			読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 図書館サービス概論 図書・図書館史			
兼任	講師	慶田 収 (67) ＜平成 31 年4 月＞ 経済学修士	兼任	講師	慶田 収 (68) ＜平成 31 年4 月＞ 経済学修士	兼任	講師	慶田 収 (69) ＜平成 31 年4 月＞ 経済学修士	兼任	講師	
		経済と社会Ⅱ 経済と社会Ⅲ			経済と社会Ⅰ 経済と社会Ⅱ 経済と社会Ⅲ			経済と社会Ⅰ 経済と社会Ⅱ			
兼任	講師	吉川 勝広 (53) ＜平成33年4月＞ 博士（比較社会文化）	兼任	講師	吉川 勝広 (54) ＜平成30年4月＞ 博士（比較社会文化）	兼任	講師	吉川 勝広 (55) ＜平成30年4月＞ 博士（比較社会文化）	兼任	講師	
		ものづくり論			ものづくり論			ものづくり論			
兼任	講師	今村 直樹 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（歴史学）	兼任	講師	今村 直樹 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（歴史学）	兼任	講師	今村 直樹 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（歴史学）	兼任	講師	
		日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史			
兼任	講師	柳 景沃 (55) ＜平成30年4月＞ 文学修士	兼任	講師	柳 景沃 (56) ＜平成30年4月＞ 文学修士	兼任	講師	柳 景沃 (57) ＜平成30年4月＞ 文学修士	兼任	講師	柳 景沃 (59) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習			初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習			初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辛 教燦 (35) ＜平成30年4月＞ 修士（国際文化学）
		韓国語コミュニケーションⅡ ビジネス韓国語Ⅰ ビジネス韓国語Ⅱ
兼任	講師	宮園 博光 (52) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		アドミニストレーション入門

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辛 教燦 (36) ＜平成31年4月＞ 修士（国際文化学）
		韓国語コミュニケーションⅡ ビジネス韓国語Ⅰ ビジネス韓国語Ⅱ
兼任	講師	井寺 美穂 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（7月ミナストレーション）
		アドミニストレーション入門
兼任	講師	広瀬 美貴子 (54) ＜平成30年4月＞ 看護学校卒業
		キャリア形成入門
兼任	講師	津村 秀夫 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）
		情報サービス演習(Ⅷ) 図書館情報資源概論 図書館制度・経営論
兼任	講師	那須 弘生 (60) ＜平成31年4月＞ 学士（経営学）
		観光産業論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辛 教燦 (37) ＜平成31年4月＞ 修士（国際文化学）
		韓国語コミュニケーションⅡ ビジネス韓国語Ⅰ ビジネス韓国語Ⅱ
兼任	講師	井寺 美穂 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（7月 ミナストレーション）
		アドミニストレーション入門
兼任	講師	広瀬 美貴子 (55) ＜平成30年4月＞ 看護学校卒業
		キャリア形成入門
兼任	講師	津村 秀夫 (65) ＜平成31年4月＞ 修士（社会学）
		情報サービス演習(B) 図書館情報資源概論 図書館制度・経営論
兼任	講師	那須 弘生 (61) ＜平成31年4月＞ 学士（経営学）
		観光産業論
兼任	講師	小栗 寛史 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		経済と社会Ⅲ
兼任	講師	津曲 紀宏 (37) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ
兼任	講師	山田 光輝 (48) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒業
		プレゼンテーション演習
兼任	講師	小島 健康 (44) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		webデザイン演習Ⅰ webデザイン演習Ⅱ
兼任	講師	額原 幸二 (37) ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		基礎統計Ⅱ
兼任	講師	高埜 健 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（政治学）
		国際関係論
兼任	講師	岩見 龍二郎 (58) ＜令和2年4月＞ 高校卒業
		観光実務
兼任	講師	小笠原 淳 (46) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		日中文化交流史
兼任	講師	式 雅子 (48) ＜令和2年10月＞ 短大卒業
		日本語表現Ⅱ
兼任	講師	浦川 豊久恵 (62) ＜令和2年10月＞ 文学修士
		決定韓国語Ⅲ
兼任	講師	木下 俊和 (53) ＜令和2年10月＞ 経済学博士
		マーケティング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辛 教燦 (38) ＜平成31年4月＞ 修士（国際文化学） 韓国語コミュニケーションⅡ ビジネス韓国語Ⅰ ビジネス韓国語Ⅱ
兼任	講師	井寺 美穂 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（7月ミナストレーション） アドミニストレーション入門
兼任	講師	広瀬 美貴子 (56) ＜平成30年4月＞ 看護学校卒業 キャリア形成入門
兼任	講師	津村 秀夫 (66) ＜平成31年4月＞ 修士（社会学） 情報サービス演習(B) 図書館情報資源概論 図書館制度・経営論
兼任	講師	那須 弘生 (62) ＜平成31年4月＞ 学士（経営学） 観光産業論
兼任	講師	山田 光輝 (49) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒業 プレゼンテーション演習
兼任	講師	小島 健康 (45) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学） webデザイン演習Ⅰ webデザイン演習Ⅱ
兼任	講師	額原 幸二 (38) ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学） 基礎統計Ⅱ
兼任	講師	高埜 健 (61) ＜令和2年4月＞ 博士（政治学） 国際関係論
兼任	講師	岩見 龍二郎 (57) ＜令和2年4月＞ 高校卒業 観光実務
兼任	講師	小笠原 淳 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（文学） 日中文化交流史
兼任	講師	式 潤子 (48) ＜令和2年10月＞ 短大卒業 日本語表現Ⅱ
兼任	講師	浦川 豊久恵 (62) ＜令和2年10月＞ 文学修士 決定韓国語Ⅲ
兼任	講師	木下 俊和 (54) ＜令和2年10月＞ 経済学博士 アジア経済論 旅行業法規

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辛 教燦 (39) ＜平成31年4月＞ 修士（国際文化学） 韓国語コミュニケーションⅡ ビジネス韓国語Ⅰ
兼任	講師	津村 秀夫 (67) ＜平成31年4月＞ 修士（社会学） 情報サービス演習(B) 図書館情報資源概論
兼任	講師	那須 弘生 (63) ＜平成31年4月＞ 学士（経営学） 観光産業論
兼任	講師	山田 光輝 (50) ＜令和2年4月＞ 専門学校卒業 プレゼンテーション演習
兼任	講師	小島 健康 (46) ＜令和2年4月＞ 修士（教育学） webデザイン演習Ⅰ webデザイン演習Ⅱ
兼任	講師	高埜 健 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（政治学） 国際関係論
兼任	講師	岩見 龍二郎 (58) ＜令和2年4月＞ 高校卒業 観光実務
兼任	講師	式 潤子 (49) ＜令和2年10月＞ 短大卒業 日本語表現Ⅱ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・平成31年3月 川上（多田）知里助教が自己都合により退職
- ・平成31年4月 水谷 智彦助教が生活科学部助教へ配置換
- ・令和2年3月 所 吉彦教授が自己都合により退職
- ・令和2年3月 岡田 則浩准教授が任期終了により退職

【令和2年度】

- ・令和2年4月 柳田 紀代子を教授に採用
- ・令和2年4月 北口 英穂准教授を教授に昇任

【令和3年度】

- ・令和3年4月 宇野 文重准教授を教授に昇任
- ・令和3年4月 金 承珠講師を准教授に昇任
- ・令和3年9月 金 承珠准教授が自己都合により退職
- ・令和3年9月 光成有香を助教に採用

【令和4年度】

- ・令和4年4月 塩谷さやかを教授に採用
- ・令和4年4月 小野澤泰子を准教授に採用
- ・令和4年5月 田口誠一教授を生活科学部より本学部に配置転換

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上 の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
9	8	2	1	20	0	11	6	2	1	20	0
(8)	(8)	(2)	(3)	(21)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
11	6	2	1	20	0	11	6	2	1	20	0
[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{20} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{20} = \boxed{5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	秦 美香子	H30.4	選択	メディアリテラシー	①	一身上の都合のため就任辞退（H28）						
				選択	メディア表現論	①							
				選択	社会学概論	①							
				選択	社会調査法実習Ⅱ	①							
				選択	アート表現論Ⅰ	①							
				選択	アート表現論Ⅱ	①							
				選択	情報社会論	①							
				選択	マンガ表現論Ⅰ	①							
				選択	マンガ表現論Ⅱ	①							
				選択	文化社会学	①							
				選択	ソーシャルメディア論	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①							
				必修	卒業論文・卒業研究	①							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	11	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	小沢 日美子	H30.3	必修	クリティカル・リーディング	①	辞任等の理由：H30.3.31付け自己都合による退職（H29） 後任補充状況：後任補充なし
				必修	女性と社会	①	
				選択	生涯発達心理学	②	
				選択	教育心理学	②	
				選択	質的調査法	①	
				選択	プレゼンテーション概論	①	
				選択	プレゼンテーション演習	①	
				必修	課題探究プロジェクト演習Ⅰ	①	
				選択	課題探究プロジェクト演習Ⅱ	①	
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①	
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①	
2	助教	川上（多田）千里	H31.3	必修	キャリアデザインⅠ	①	辞任等の理由：H31.3.17付け自己都合による退職（H31） 後任補充状況：後任補充なし
				必修	キャリアデザインⅡ	①	
				選択	ジェンダー表象論 ※	①	
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①	
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①	
				必修	卒業論文・卒業研究	①	

3	助教	水谷 智彦	H31. 4	必修	スタディスキル	②	辞任等の理由：H31. 4. 1付け生活科学部へ配置換（H31） 後任補充状況：後任補充なし						
				必修	クリティカル・リーディング	①							
				必修	課題探究プロジェクト入門	②							
				選択	質的調査法	②							
				必修	課題探究プロジェクト演習Ⅰ	②							
				選択	課題探究プロジェクト演習Ⅱ	②							
				選択	社会調査法実習Ⅱ	②							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①							
				必修	卒業論文・卒業研究	①							
4	教授	所 吉彦	R2. 3	選択	社会コミュニケーション論入門	①	辞任等の理由：R2. 3. 31付け自己都合による退職（元） 後任補充状況：令和３年度に後任補充済。						
				選択	マーケティング論	②							
				選択	社会コミュニケーション実践論	②							
				選択	観光総論	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①							
				必修	卒業論文・卒業研究	①							
				選択	地域マネジメント研修Ⅰ	①							
選択	地域マネジメント研修Ⅱ	①											
5	准教授	岡田 則浩	R2. 3	選択	基礎数学Ⅰ	②	辞任等の理由：R2. 3. 31付け任期終了による退職（元） 後任補充状況：後任補充の計画なし						
				選択	基礎数学Ⅱ	②							
				選択	基礎統計Ⅰ	②							
				選択	基礎統計Ⅱ	②							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①							
				必修	卒業論文・卒業研究	①							
6	准教授	金 承珠	R3. 8	選択	観光文化論	①	辞任等の理由：R3. 8. 31付け自己都合による退職（R4） 後任補充状況：R4年4月1日に後任補充済						
				必修	課題探究プロジェクト演習Ⅰ	①							
				選択	コンテンツ・ツーリズム論	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①							
				必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①							
				必修	卒業論文・卒業研究	①							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
6	人	必修	27	科目	必修	24	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	22	科目	選択	11	科目	選択	11	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	49	科目	計	35	科目	計	14	科目	計	0	科目

- （注）・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（3）－③ 上記（3）－① ・ （3）－② の合計

合計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
7	人	必修	30	科目		必修	27	科目	必修	3	科目
		選択	33	科目		選択	22	科目	選択	11	科目
		自由	0	科目		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	63	科目		計	49	科目	計	14	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)} + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{20} = \boxed{35} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	林田 俊一郎	必修	キャリアデザインⅡ	①	定年による退職 (R4)							
			選択	インターンシップ	①								
			選択	名跡鑑賞	②								
			選択	書写・書道Ⅰ	②								
			選択	書写・書道Ⅱ	③								
			選択	アジア書記史Ⅰ	②								
			選択	アジア書記史Ⅱ	②								
合 計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	1	科目	選択	4	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	2	科目	計	4	科目	計	1	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職教員の担当授業科目は、原則、後任補充により対処することとしており、とくに専門科目担当教員の場合はこの原則を基本的に適用している。しかし、退職教員の担当科目が令和4年度より開始される新カリキュラムでは非常に少なく、かつ専任教員、兼任及び非常勤講師の担当で教育の質保証が可能な場合、本原則が適用されない場合もある。

令和3年度について言えば、林田俊一郎教授の退職については、専門科目における担当科目が新カリキュラムで少なくなり、かつ専任教員、兼任及び非常勤講師の担当で教育の質保証が可能と判断したため補充人事は行わなかったが、同じ専門科目を主として担当していた所吉彦教授及び金承珠准教授の退職については、原則通りそれぞれ光成有香助教及び小野澤泰子准教授を採用した。なお、キャリア教育および現代文化学部在学生の外国語コミュニケーション力の強化を実施するべく塩谷さやか教授の採用および田口誠一教授の本学部への配置転換を行ったことにより、本学部所属する教員数は令和3年度より2名増加し、教育の質がさらに高まったと判断している。

学生への周知方法については、教務システムを通じて提供されるシラバスおよびオリエンテーションによって実施している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年度)	・ 尚綱大学短期大学部 総合生活学科の定員充 足率の平均が0.7倍 未満となっていること から、学生確保に努め るとともに、入学定員 の見直しについて検 討すること。	学生確保に向けて、教育 内容及び学生支援等の充実 強化を図り、地元企業への 確実な就職と退学者防止の 効果を保護者や高校の先生 方に周知するように努め た。具体的には、金融系就 職支援講座、公務員対策講 座に力を入れ、地元金融機 関や公務員への就職を増や した。また、退学防止対策 班を組織し、きめ細やかな 学生対応と保護者会の実施 など家庭との連絡を密にし て退学者ゼロを達成した。 これらの内容を年4回実施 する高校訪問で学科独自の チラシ等を作成しアピール した。学生の出身高校に は、高校訪問時に学生生活 の様子を「総合生活学科 ニュースレター」として定 期的に卒業まで報告してい る。保護者対応では、オー プンキャンパス時に、説明 と共に個別面談を実施して いる。高校生向けにはオー プンキャンパスで在学生と の交流で学生生活への不安 解消に努め、2年間の学び と将来像をイメージできる ように工夫している。平成 29年度は入学定員超過率は 0.72、平成30年度は0.91に 回復した。 なお、平均入学定員超過率 は、0.81となる。 (総合生活学科) 平成29年度入学者数：58 人、平成30年度入学者数： 73人 入学定員：80人	履行済

設置計画履行状況 調査時 (令和4年)	○「専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること」 (現代文化学部文化コミュニケーション学科)		令和3年度における改善計画として示した事項について、次のとおり実施した。 令和3年度「設置に係る設置計画履行状況報告書」の「設置時の計画」及び「現在（報告時）の完成年度時の計画」の専任教員数が20名に対して、「現在（報告時）の状況」及び「現在（報告時）の完成年度時の状況」の専任教員数が18名であったことから2名減となっていた。 令和3年5月2日以降、光成有香助教（経営学関連科目担当）を採用し専任教員数19名となった。その後、令和3年度中に退職した金承珠准教授（観光学関連科目担当）及び林田俊一郎教授（文芸文化領域科目担当）に代わり、令和4年4月1日付けで小野澤泰子准教授（観光学関連科目担当）及び塩谷さやか教授（キャリア教育科目担当）を採用し、生活科学部より田口誠一教授（英語教育科目担当）を令和4年5月1日付けで配置転換した。これにより、「設置時の計画」及び「現在（報告時）の完成年度時の計画」である専任教員数20名を確保している。	履行済	
------------------------------------	--	--	--	------------	--

設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)	○「教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること」 (現代文化学部文化コミュニケーション学科)	令和3年度実施計画に基づき、①「カリキュラムの再検討などにより、教育内容の充実を図る」、②「キャンパス移転に伴う他学部・学科、併設高校等との連携強化を図る」、③「効果的な広報活動を実施する」について、下記の取り組みを行い、カリキュラムの魅力度が向上し教育内容は充実したものの、入学定員未充足の状態を解消することができなかった。	令和3年度の定員未充足に至った課題は、 ①「教育内容の充実」 ②「広報活動」 ③「コロナウイルス禍による観光系・国際系志望者の減少への対応」 に区分できる。これらへの対応策を中心に令和4年度の実施計画は、次のとおりとする。
		〔1〕取り組み状況 ①カリキュラムの再検討などにより、教育内容の充実を図る。 (1)カリキュラムの再検討について ア) 専門導入科目の充実を目的に、2年生後期の専門教育科目「映像表現論」等を1年生後期から開講される専門導入科目へ移行、従来の開講科目についても見直しを実施。その結果、専門導入科目は従来の8科目から12科目に拡充され、専門教育科目への移行をスムーズにした。 イ) 履修者数の実態にもとづき、「経済と社会II」、「民法入門」など履修者が少ない科目を廃止した。廃止科目の学修内容は、開講されている関連科目の学修内容の中に取り込んだ。 ウ) 領域での学びの一貫性を深めるため、日本・東アジア社会文化領域科目として開講されていた「地域コミュニティ創造論演習I・II」を観光文化領域に移動させるなど配置領域の見直しを行った。 エ) 卒業要件の見直しを行い、卒業研究を選択制とし、「卒業論文の提出」もしくは「指定する外国語検定試験において規定する水準(点数・級など)に達すること及び研究・実績報告書の提出」のいずれかとした。このことから、学生のニーズへの柔軟な対応を図った。	(1) 教育内容の充実 ①ICT活用をさらに推進する。令和2年度よりICTを活用した授業運営が開始されている。令和4年度については、すでに利用しているGoogle Classroomを用いたeポートフォリオの導入などの検討を開始し、さらなるICT活用を推進していく。 ②カリキュラムに関する検討を継続する。令和4年度以降も、現行カリキュラムの学修効果や社会的ニーズを見据えながら、より学修効果の高いカリキュラム編成の検討を継続する予定である。 ③就職につながる新たな資格・免許の導入を検討する。 ④学生の就職活動の早期化及び意欲的なチャレンジを促し、就職先の充実を図るとともに、キャリア教育改善に関する取り組みを強化する。 (2) 広報活動 ①教員が入試アドバイザーとの同行及び独自による高校訪問を行い、高校生及び高校教員に在学生の現況等の情報や学部PR資料の提供を通じて、直接学部の魅力を伝えることを通じて、学部の学びの特色を周知することを徹底する。 ②大学ウェブページやイベント及びくまモン学ニューズレターを通じて、現代文化学部の教育内容や本学部教員が関係する「くまモン学」の研究成果を高校生に伝えていく。特に学部ニュースについては、昨年同様、週1回更新する。 ③中高大連携授業を活用し、高校生が関心を持つ韓国語、KPOP文化、観光学、マンガ・アニメなどの情報メディア文化、日本語教育など現代文化学部の特色ある学びを併設高校生に向けて引き続きアピールしてい

設置計画履行状況
調 査 時
(令和4年)

○「教育内容の充実等
を通じ、入学定員未充
足の改善に努めるこ
と」
(現代文化学部文化
コミュニケーション学
科)

(2) 観光文化領域の魅力
度向上について
ア) 観光文化領域の専門教
育科目について、観光業界
の現状と将来及び県内の地
域課題等の状況を踏まえ、
本領域の魅力度向上のため
カリキュラムを改正した。
具体的には、「ツーリズム
論Ⅰ・Ⅱ」(旧カリキュラム
における「コンテンツ・
ツーリズム論」と「インバ
ウンド・ツーリズム論」の
内容を発展させたもの)や
「観光文化統合研究」、
「ツーリズム論演習Ⅰ」及
び「ツーリズム論演習Ⅱ」
等を新規に導入し、前年度
の7科目から10科目に充実
した。

(3) 情報メディア文化領
域の教育内容充実について
ア) 令和4年3月、客員教授
である合志マンガミュージ
アム館長の橋本博氏による
高校生向け講座を開講し、
情報メディア文化領域の学
びの魅力を広報した。

(4) 国際交流の充実につ
いて
ア) 新型コロナウイルス感
染拡大の下、留学生の受け
入れ・派遣が困難な状況を
踏まえて、オンラインによ
る協定校との連携交流を実
施した。さらに、ハワイ大
学マノア校との提携交渉を
更に進めた。

上記実施計画に基づく取り
組みに加え、以下のことに
取り組んだ。
ア) キャリア教育に関して
は、経営学及びキャリア教
育に関する教育研究分野を
担当する塩谷さやか教授を
新たに配置し、次年度に向
け充実化を図った。
イ) ディプロマ・ポリシー
に掲げた「高度な外国語運
用能力の修得」に係る学び
を充実させるため、生活科
学部より英語教育を担当す
る田口誠一教授を現代文化
学部配置転換した。
ウ) 教養教育科目に設置し
ていた日本語教師養成課程
を、専門教育科目に設置
し、併せて本学部の副専攻
とすることで、カリキュラ
ムの中での位置づけを明確
にした。

く。

④オープンキャンパス等の
機会を利用した高校生及び
その保護者に対する学部PR
活動を強力に推進する。
⑤高校生を対象としたイベ
ントについて、昨年度実施
できなかった「ビブリオバ
トル」を含め、「外国語ス
ピーチコンテスト」を実施
する。また、昨年度初めて
実施した「くまモン学」の
イベントを継続して実施し
ていく。さらに、情報メ
ディア文化領域と文芸文化
領域が共催するイベントを
実施し、マンガやアニメ作
品に関心のある高校生に向
けて、情報メディア文化領
域と文芸文化領域の教育内
容を同時にアピールする機
会を設ける。
⑥本学他学部・他学科及び
併設高校との連携を強化す
る。併設高校との連携強化
については、昨年に引き続
き、併設高校在学生による
本学部教員の研究室訪問を
実施し、サークル間の協力
関係を確立するべく調整を
進める。加えて、併設高校
に大人気の本学教員による
韓国語講座等の高大連携授
業を通じて、本学の魅力を
さらにアピールすることによ
って、内部進学者の増加
に取り組む。本学他学部と
の連携強化に関しては、よ
り一層、科目の合同開講や
共同で行う学外活動に取り
組むことによって連携を深
めたい。

(3) コロナウイルス禍に
よる観光系・国際系志望者
の減少への対応
①観光系志願者増に向け
て、観光文化領域は、観光
需要の回復をチャンスと捉
え、観光や地域・文化関係
の関係者等と教育・研究・
職場体験等様々な分野にお
ける連携をさらに進め、授
業や学外学修の充実を図
る。
②日本・東アジア社会文化
領域は、コロナウイルス禍
のもとで交換留学等の国際
交流活動が困難になってい
ることを踏まえ、昨年度よ
り実施したオンラインによ
る提携校との国際交流をさ
らに強化する。さらにハワ
イ大学マノア校との提携交
渉を継続し、国際交流の充
実を図っていく。

設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)	○「教育内容の充実等 を通じ、入学定員未充 足の改善に努めるこ と」 (現代文化学部文化 コミュニケーション学 科)	②キャンパス移転に伴う他 学部・学科、併設高校等と の連携強化を図る (1) 交通アクセスの利便 性を活かした志願者・入学 者の増加について ア) 学部ウェブページや ニュース記事、オープン キャンパスでの学部説明及 び学部発行のニュースレ ターなどで、通学の利便性 や市内中心部での学外学修 が実施可能となる立地条件 の良さをアピールした。 (2) 熊本市内の企業・団 体等との連携協力について ア) 地元商店街振興組合及 び百貨店など企業等との連 携を進め、授業や研究への 協力、職場体験の実施、イ ベントへの学生の参加等 により、学部の知名度アップ や教育内容等の周知等 を行った。 (3) 同一キャンパス内 での他学部・学科との連携 について ア) 短期大学部総合生活学 科との関係強化を図り、編 入学者1名を受け入れた。 また、本学が実施している 「くまモン学プロジェク ト」の一環として生活科学 部・食物栄養学科と連携 し、伝統食のレシピ・歴史 をトピックとするマンガを 作成した。 (4) 併設高校との高大連 携について ア) 高大連携授業を実施す るとともに、学部学生主体 の「創作同好会」と併設高 校の「漫画研究会」が、先 述の「伝統食のレシピ・歴 史」に関するマンガを共同 制作した。また、併設高校 在学学生による学部教員の 研究室訪問を実施し、交流 を図った。 ③効果的な広報活動を実施 する (1) 入試アドバイザーに よる高校訪問の結果に基づ く意見を踏まえた対応につ いて ア) ニュースレター等を活 用し、学部の魅力を伝え た。また令和6年度にマン ガ関連学科が設置される熊 本県立高森高校との連携強 化を推進した。	③日本・東アジア社会文化 領域については、半導体受 託最大手である台湾企業 TSMCの熊本県進出に伴い、 菊陽町及び近隣市町村にお いて「中国語、英語ができ る人材」及び日本語教師が 様々な業種で求められるこ ととなった。この社会的 ニーズから生じる卒業後の 進路を高校生等にアピール し、学部の魅力度を伝え る。この社会的ニーズに対 応するために、本学が提携 している慈済大学・高雄大 学（いずれも台湾）と緊密 な連携を取りながら、日 本・東アジア社会文化領域 を中心に育成している中国 語・英語コミュニケーション 力を持つ人材及び日本語 教育能力がある人材を、 ニーズのある企業・団体・ 自治体に送り出すべく、関 係諸機関との協力関係構築 に向けて取り組みを行う。
-----------------------------	--	---	---

設置計画履行状況 調査時 (令和4年)	○「教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること」 (現代文化学部文化コミュニケーション学科)	(2) 大学のウェブサイトを活用した情報発信について ア) ウェブサイトによる情報発信を積極的に実施し、学部ニュースを概ね週1回更新した。また、大学のYouTubeチャンネルで、学部教員の研究内容及び学びの内容に関する広報活動を実施した。さらに、くまモン学に関する活動についてリーフレットの発行を行った。 (3) 中高大連携授業に関する取り組みについて ア) 中高大連携授業を活用し、韓国語、観光学、マンガ学・アニメ研究を中心とする情報メディア文化等の現代文化学部の特徴ある教育内容について広報活動を行った。 (4) オープンキャンパス等によるPR活動について ア) オープンキャンパス等の機会を利用し、高校生及び保護者に対する学部PRを実施した。 (5) 高校生対象のイベント開催について ア) オープンキャンパスにおいて「くまモン学」のイベントを新たに実施し、地域への研究成果の還元を行った。また、新規にマンガ・アニメに関する高校生を対象としたイベントを実施し、学部の教育内容の周知及び知名度の向上を図った。なお、過去実施した「ビブリオバトル」はコロナウイルス感染状況から実施を見送り、「尚綱文学賞」は、再検討中であり、令和3年度は未実施であった。「外国語スピーチコンテスト」については、zoomを利用して開催した。 〔2〕定員未充足に至った理由 令和3年度は上述した取り組みを行ったが、令和4年度の志願者は、前年度比11名減の79名、入学者については前年比13名減の42名となり、入学定員充足率は56%となった。併設高校からの入学者も、前年度比6名減の9名であった。定員未充足に至った原因は、以下の通りと判断している。		
------------------------------------	--	--	--	--

設置計画履行状況 調査時 (令和4年)	○「教育内容の充実等 を通じ、入学定員未充 足の改善に努めるこ と」 (現代文化学部文化 コミュニケーション学 科)	①入試アドバイザーを中心 とした高校訪問であったこ とから、学部の詳細な内容 の紹介が不十分であった。 ②例年20件程度実施してい た学部教員による高校への 出張講義が、コロナウイル ス禍でzoomによる1件のみ となり、高校生及び高校教 員に対して直接対面する機 会が不十分となった。 ③高校生の志望動機の一つ である就職実績が、完成年 度に至っていなかったため 広報することができなかつ た。 ④学部の特色を踏まえた資 格・免許については新たな 魅力ある資格・免許につ いての調査・研究が不十分 であった。 ⑤全国的にコロナウイルス 禍による観光系・国際系を 志望する高校生が減少し た。
		〔3〕令和4年度に向けた 課題 ①教員が入試アドバイ ザーとの同行及び独自によ る高校訪問により、高校 生・高校教員及び保護者に 学部の魅力を直接伝える取 り組みが必要である。 ②学部の就職実績を確実に 積み上げていくために、 キャリア教育の充実、学生 の就職活動の早期化及び意 欲的なチャレンジを促すこ とが必要である。 ③カリキュラムを大きく変 えずに取得できる新たな資 格・免許の導入が課題であ る。

--	--	--	--	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<現代文化学部 コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 本学では、教職員の資質向上を積極的に推進するため、全学的機関として「SD・FD委員会」及び及びその下部組織である「SD推進部会」「FD推進部会」を設置し、年間計画に基づく具体的な諸活動に取り組んでいる。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 令和3年度は、コロナ化の影響もあり、SD・FD委員会は年1回、SD推進部会は年1回、FD推進部会は年8回開催した。具体的な活動として「授業改善アンケート」「オープンクラス・ウィーク」及び「FD研修会」などを行った。なお、関連会議の構成員は以下のとおりである。 【SD・FD委員会】 学長、学長補佐、学部長、短期大学部長、学科長、学園事務局長、大学事務局長、学園事務局総務部長、事務部長、大学企画室長、 【SD推進部会】 学部長、短期大学部長、学科長、大学事務局長、学園事務局総務部長、事務部長、大学企画室長、 【FD推進部会】 学部長、短期大学部長、学科長、学科選出教員各1名、教務課長、大学企画室長、 c 委員会の審議事項等 【SD・FD委員会】 1) SD・FDの基本方針策定 2) SD・FDの単年度事業計画及び中長期計画の策定 3) その他教職員の能力開発に関し必要なこと 【SD推進部会】 1) SDの実施計画策定 2) 大学運営に必要な知識及び技能を身に付け、能力及び資質を向上させるための諸施策の企画及び実施 3) その他SD推進に必要なこと 【FD推進部会】 1) FDの実施計画策定 2) 授業内容及び方法の改善を図るための諸施策の企画及び実施 3) その他FD推進に必要なこと ② 実施状況 a 実施内容 1) SD研修会 2) FD研修会 3) 教員相互の授業参観(オープンクラス・ウィーク) 4) 授業改善アンケート 5) 新任教員のための研修会 6) 学生との意見交換会

b 実施方法

- 1) SD推進部会で年間計画を策定し、学内での開催及び学外で開催される研修会へ参加している。
- 2) FD推進部会で研修内容を検討の上、年2回開催している。
- 3) 年に2回、6週間の期間を設けて原則全授業を公開し、教員が相互に参観してレポートを提出している。
- 4) 前・後期に各1回、原則、開講された全科目を対象として実施している。
- 5) SD及びFD活動に関する内容も含めた研修会を4月に実施している。
- 6) 学生と教員の意見交換会を2月に開催している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

＜令和3年度実績＞

- 1) 学内研修会を7回開催（うち、新入教職員のみを対象とした研修会が2回）、学外研修会には10回参加。
- 2) 12月に「教育DXについて」をテーマとして、動画配信にて本学の高橋総合生活学科准教授と
實松生活科学部准教授による研修会を実施した。（参加者41名）
- 3) 前期は6月下旬から7月上旬、後期は11月上旬から12月上旬に実施し、全教員が参加した。
- 4) 前期期末・後期期末に各1回実施。また、前期中間期・後期中間期に任意で各1回実施。
- 5) SD及びFDに関する研修は、平成30年度から実施しており、新任教員は全員参加。
- 6) 後期に学科ごとに開催し、全学科の議事要録を報告書としてまとめ、共有した。

※「教員の参加状況」は、教授から教員助手までの実績を示す

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度から「授業改善アンケート」を各期中間の授業回に実施、また令和3年度からは各期末に実施し、当該授業へのフィードバックを行っている。令和3年度の諸活動として、教職員の資質向上のためハラスメントやコンプライアンス、をテーマにSD研修会を年間7回開催のほか、「教育DXについて」をテーマにFD研修会を年1回開催した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和3年度から各期14回目の授業～定期試験最終日で実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目の担当教員による「分析・評価」及び「今後の取り組み」が記載された科目別集計票を、学内専用サイトで期間を限定し公開している。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和3年度は、現代文化学部設置4年目として『尚絅大学現代文化学部設置届出書』に記載した計画に基づき、適正な変更を加えながら、授業の開講等学部の運営にあたった。入学者に対しては昨年度に引き続き作成した『現代文化学部履修ガイド2021』を配付し、また2年生・3年生については入学時に配付した『履修ガイド』などを活用して、各学年のカリキュラムについての履修指導を行った。

専任教員の人事については、退職教員に対する補充人事を行うとともに、キャリア教育内容の向上を目指して塩谷さやか教授を採用し、さらに在学生の外国語コミュニケーション力の向上を目指して田口誠一教授を生活科学部から現代文化学部へ配置転換した。これにより、指摘事項1にある設置時の計画にある専任教員20名を確保し、さらなる教育力の向上を果たした。

指摘事項2にある入学者の定員未充足の状況に対しては、令和3年度実施計画に基づき、①カリキュラムの再検討による教育内容の充実化、②キャンパス移転に伴う他学部・学科、併設高校との連携強化、③広報活動の強化を行った。これらの取り組みについては、ほぼ計画通りに実施することができたが、令和4年度入学者は、令和3年度比13名減の42名となった。令和4年度入学者の減少に関しては、①「本学部の詳細な説明が広報できなかったこと」、②「教員が直接高校生に現代文化学部の学びを伝える機会であった出張講義が激減したこと」、③「現代文化学部の学びにおいては、観光学系および国際系の学修が重要な部分を占めているが、これらの系統の学びを希望する志願者が全国的に減少したこと」などが重要であると判断している。これらの課題への対応に関しては、令和4年度の実施計画の中に織り込んでいる。このような取り組みを通じて、教育内容・方法の充実化を図り、設置の趣旨・目的に沿った人材育成と共に入学者が満足できるような新学部の活動の充実に努めるとともに学生確保に繋げていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年7月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ウェブサイトへの掲載

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受診し、平成30年3月に「大学評価基準に適合していると認定する」との評価結果を受けている。評価結果は、日本高等教育評価機構及び本学のホームページにて公表済み。

- ・次回の認証評価については、令和6年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [公表後 2 ～ 3 ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。